

Road to 2019-2020

～レガシーの創出に向けて～

府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等

関連事業推進アクションプラン

最終版

令和 4 年 2 月 改 定

府 中 市

アクションプラン最終版の発行にあたり

「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進アクションプラン」最終版の発行にあたっては、策定当初の記載内容を活かしつつ、令和3年度の事業実績のほか、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックをきっかけとして取り組んできた各事業の成果や今後レガシーとして継続する取組や将来的な考え、また、令和4年度の新規・レベルアップ事業をまとめています。

目次

1 策定の趣旨・経緯	1
2 取組の立案に当たって	2
(1) 2020組織委員会等の取組	2
(2) 本市の取組の立案に当たって	3
(3) アクションプランの見直し	5
(4) 東京2020大会の開催延期について	5
3 5本の柱ごとの取組	6
大会気運の醸成	6
キャンプ地の誘致	59
ボランティアの育成支援	72
スポーツ・文化の発展	86
魅力発信	111
4 推進体制	147
参考資料	149

1 策定の趣旨・経緯

令和元年に開催されるラグビーワールドカップ2019（日本大会）及び令和3年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「オリンピック等」といいます。）は、スポーツの祭典として、スポーツを起点に観光や文化など多様な分野で新たな発展や質的向上をもたらすことが期待されています。

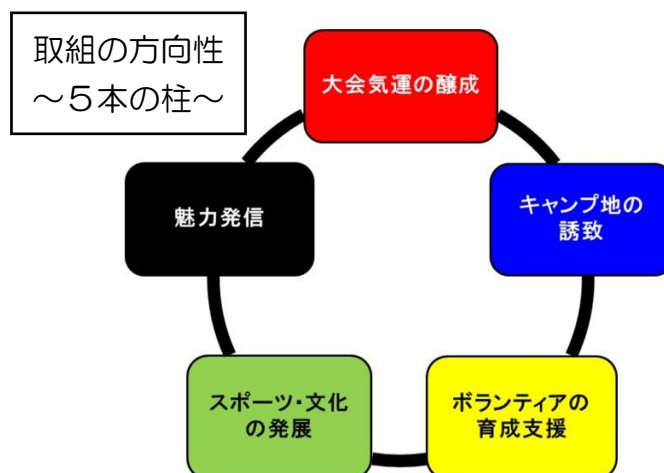
本市では、オリンピック等の開催を一層の地域活性化を促進する絶好の契機として捉え、関係機関と連携を図りながら、全市を挙げて施策を講じるため、平成27年8月に市長を本部長、副市長及び教育長を副本部長とする「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進本部」と、関係課長級で構成する「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業検討部会」を設置しました。

このような体制の下、平成27年11月には、本市におけるオリンピック等に向けた取組の方向性を示した「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進プロジェクト基本方針」（以下「基本方針」といいます。）を策定しました。

この基本方針では、市の基本的な考え方を「オリンピック等の開催を契機に、スポーツタウン府中の更なる推進を図るとともに、本市の魅力を世界に発信します。さらに、未来を担う子どもたちに夢と希望を与え、都市としてのにぎわいと活力を生み出し、本市が持続的に発展することを目指し、市民との協働により全市を挙げて、オリンピック等の成功に向けた取組を推進します。」としています。

この考え方にに基づき、市の取組の方向性として、「大会気運の醸成」、「キャンプ地の誘致」、「ボランティアの育成支援」、「スポーツ・文化の発展」及び「魅力発信」の5本の柱を定め、取組を推進することとしました。

このアクションプランは、この5本の柱をより具体化し、オリンピック等の開催後にレガシー^{※1}を創出するための取組を示したものです。



※1 レガシー：オリンピック等の開催に伴って生み出される後世に残すべき有形又は無形の遺産のこと。

2 取組の立案に当たって

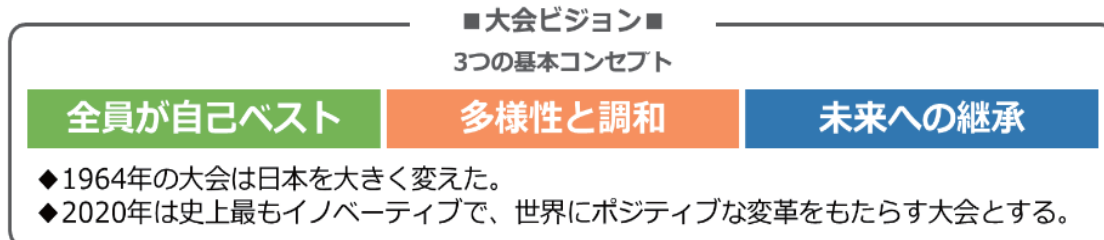
(1) 2020組織委員会等の取組

ア 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の取組

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「2020組織委員会」といいます。）は、大会を契機に残すべきレガシー（東京2020大会をきっかけにその後の東京・日本そして世界に何を残し、創出していくのか）とそのレガシーを残すためのアクション（2016年から2020年にかけて日本全国でどのようなイベント・取組を行い、みんなの参画を促していくのか）を推進するため、平成28年7月に「アクション&レガシープラン2016」を策定しました。

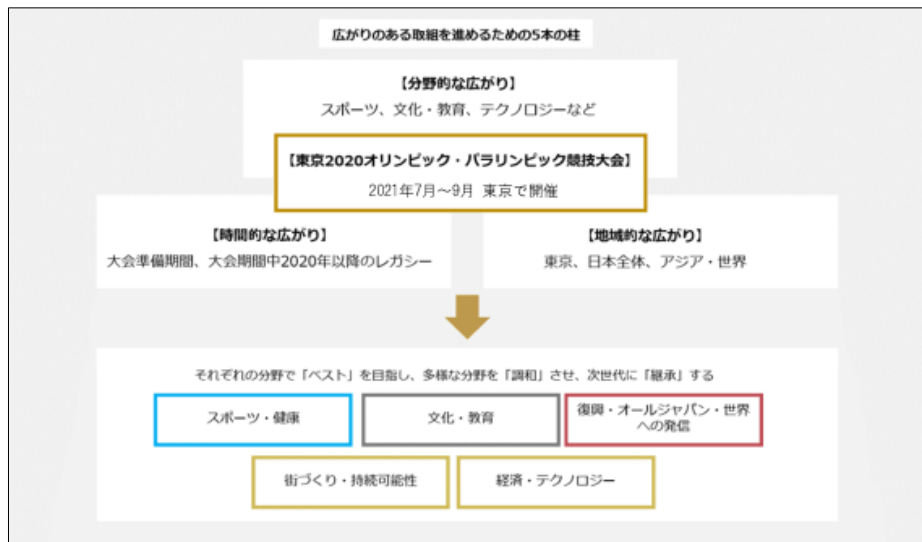
このアクション&レガシープランは、毎年夏をめどに更新が行われ、過去約1年間のアクションの実績と、当該年度に実施される見込みのアクションが掲載されています。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020オリンピック・パラリンピック」といいます。）の終了時点において、ファイナルレポートとして、「アクション&レガシーレポート2020」が策定される予定です。

【東京2020大会開催基本計画】



アクション・レガシーの具現化

【アクション&レガシープラン】



イ 東京都の取組

東京都は、2020年のその先を見据え、東京2020オリンピック・パラリンピック後に価値あるレガシーを残すための取組を着実に進めるとともに、不断に取組を進化させていくため、東京都の取組をまとめた「2020年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」を策定しました。

ウ 国の取組

国は、平成27年6月に「平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法」を制定するとともに、同年11月には、「2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」を定め、関連施策の立案と実行に取り組んでいます。

エ 各区市町村への支援策

国や東京都では、各区市町村が実施するスポーツ振興や地域の活性化につながる事業を支援することで、地域から気運醸成を図ることを目的とし、補助金等の支援事業や関連事業を実施しています。

本市では、これらの支援事業等を積極的に活用し、取組を充実します。

【主な取組】

- ▼ 東京2020参画プログラム【2020組織委員会】
- ▼ ホストタウン構想推進事業【内閣官房】
- ▼ 2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた区市町村支援事業【都】
- ▼ 東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」【都】
- ▼ 「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座【都】

(2) 本市の取組の立案に当たって

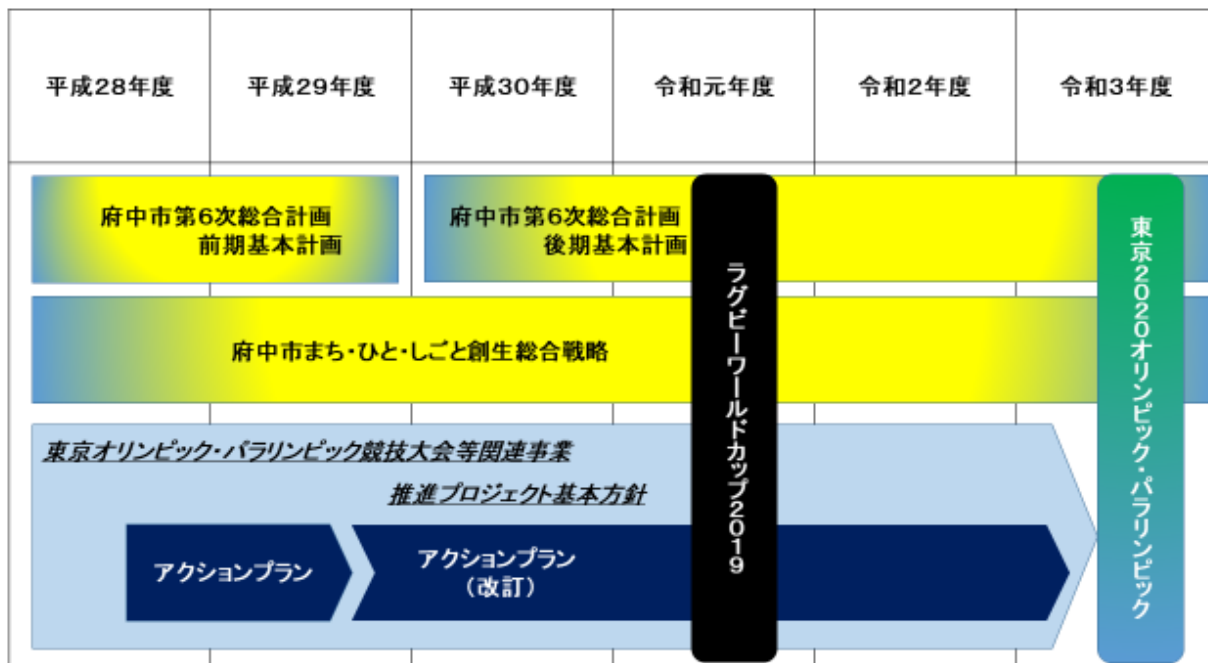
本市の取組の立案に当たっては、組織委員会、東京都等の計画や取組の考え方を踏まえるとともに、本市の市政運営の基本計画である第6次府中市総合計画及び各個別分野の計画に掲げられている目的、課題及び目標との整合を図りつつ、基本方針の5本の柱に基づき、オリンピック等を契機とし、各計画の課題解決及び事業の充実を図ることとします。

【各計画の関係性のイメージ】



(3) アクションプランの見直し

アクションプランについては、組織委員会等の動向や第6次府中市総合計画後期基本計画、予算編成等の状況等を踏まえ、必要に応じて見直していきます。



(4) 東京2020大会の開催延期について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年3月24日（火）、国際オリンピック委員会（IOC）と2020組織委員会は、東京2020大会の延期を発表しました。その後、2021年の新開催日程が発表されました。

【オリンピック競技大会】	新開催日程
正式名称：第32回オリンピック競技大会（2020／東京）	
英文名称：Games of the XXXII Olympiad	
開催期間：2021年7月23日（金）～8月8日（日）	
競技数：33競技	
【パラリンピック競技大会】	
正式名称：東京2020パラリンピック競技大会	
英文名称：Tokyo 2020 Paralympic Games	
開催期間：2021年8月24日（火）～9月5日（日）	
競技数：22競技	

これにあわせ、本市の取組についても期間を延長し実施するため、アクションプランを見直しました。

3 5本の柱ごとの取組

大会気運の醸成

ラグビーワールドカップ2019については、本市と隣接する調布市に所在する東京スタジアム（味の素スタジアム）で開会式、開幕戦等が開催され、東京2020オリンピック・パラリンピックについても、東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザ等で競技が開催される予定です。

本市では、オリンピック等の開催に向けて、市内の関係団体や近隣自治体等との連携を図り、オリンピック等に関連したイベント等の開催や啓発物品等による大会のPR活動を実施するとともに、市内で聖火リレーが行われるよう、2020組織委員会等に要請します。さらに、オリンピック・パラリンピックへの理解を深めるため、未就学児や小中学生に向けてオリンピック・パラリンピック教育を推進し、未来を担う子どもたちへ向けた取組を実施します。

取組とレガシー

(1) 取組

ア オリピック・パラリンピック教育の推進

- ▼ 市立小中学校におけるオリピック・パラリンピック教育の推進
- ▼ 未就学児を対象としたオリピック・パラリンピック教育の推進

イ 大会の気運を高めるイベント・スポーツ大会等の実施

- ▼ オリンピアン・パラリンピアンを招いた競技体験等の実施
- ▼ オリピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施
- ▼ オリピック等の取組について考える意見交換会の実施
- ▼ オリピック等に関連した講演会・講座等の実施
- ▼ オリピック等関連事業と連携した交通安全啓発事業の実施

ウ 大会関連ブースや啓発物品等による大会PR活動の実施

- ▼ 東京2020参画プログラムへの参加
- ▼ 図書館における特集展示・企画展の実施
- ▼ 各イベントにおける大会関連ブースの設置
- ▼ 啓発物品等による大会PR活動の実施
- ▼ 広報ふちゅう特集記事「世界×府中×〇〇」の連載
- ▼ オリピック等の特設ページ・SNSでの情報発信

エ 東京都や組織委員会、近隣自治体等と連携した取組の実施

- ▼ 東京都や組織委員会等と連携した取組の実施
- ▼ 近隣自治体と連携した取組の実施
- ▼ 市内関係団体等と連携した取組の実施
- ▼ 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参画

オ 聖火リレーの誘致

- ▼ 聖火リレーの誘致

カ 市職員を対象とした大会気運の醸成

- ▼ 市職員向け研修の実施
- ▼ 第4次府中市職員エコ・アクションプランの推進

キ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施

- ▼ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施

(2) 取組によるレガシー

- ◆ 市民がスポーツに親しみ、スポーツイベントへの参加意識が向上します。
- ◆ オリンピック・パラリンピック教育の充実により、多様性、国際交流、伝統・文化、ボランティアなどの理解が深まります。
- ◆ 自治体連携の強化により、様々な分野において一体となった施策を展開します。

【参考】府中市周辺で行われるオリンピック等の開催競技

大会名	競技種目等	会場
ラグビーワールド カップ2019	開会式、開幕戦等	
東京2020 オリンピック	7人制ラグビー	東京スタジアム(味の素 スタジアム)
	近代五種（水泳・馬術・ランニング・ 射撃）	
	サッカー	
	自転車競技（ロードレース）	市内ほか（武蔵野の森 公園：スタート地点）
	近代五種（フェンシング）	武蔵野の森総合スポー ツプラザ
バドミントン		
東京2020 パラリンピック	車いすバスケットボール	

■ オリンピック・パラリンピック教育の推進

事業No. 1	市立小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	
事業概要		
<p>児童・生徒が、スポーツにより心身の調和的な発達を遂げ、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や国際親善など、その果たす役割を正しく理解し、我が国と世界の国々の歴史・文化・習慣などを学び、交流することを通して、国際理解を深め、進んで平和な社会の実現に貢献することができる児童・生徒を育成する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<p>■リオデジャネイロ大会終了までを、本教育を本格的にスタートさせる前の準備期間として位置付ける</p>	<p>■各学校における、「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ（オリンピック競技、パラリンピック競技・障害者スポーツ）」「文化（日本文化、国際理解・交流）」「環境（持続可能性）」に関する授業の実施</p>
平成29年度	<p>■リオデジャネイロ大会終了後、各校が基本的な枠組みに基づき、ボランティアマインドの醸成や障害者理解教育の促進など、本教育を本格的に開始する時期として位置付ける</p>	<p>■各学校における、「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ（オリンピック競技、パラリンピック競技・障害者スポーツ）」「文化（日本文化、国際理解・交流）」「環境（持続可能性）」に関する授業の実施</p>
平成30年度	<p>■オリンピック・パラリンピック参加予定国・地域への理解・交流等を深めていくとともに、障害者理解やボランティア活動などの取組を一層活発化させる期間として位置付ける</p>	<p>■世界友だちプロジェクトの追加申請を全校で実施 ■ホストタウン交流や車いすバスケットの観戦 ■オリンピック、パラリンピアンとの交流 ■英語でクッキング（ホストタウンの国の料理の調理や、留学生との交流）</p>
令和元年度	<p>■オリンピック・パラリンピック参加予定国・地域への理解・交流等を深めていくとともに、障害者理解やボランティア活動などの取組を一層活発化させる期間として位置付ける</p>	<p>■ホストタウン交流やパラリンピック競技の観戦 ■オリンピック、パラリンピアンとの交流 ■パラリンピック競技応援校の指定</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ■英語でクッキング(ホストタウンとなっている国の料理の調理や、留学生との交流) ■オリンピック・パラリンピック教育推進のための教員研修会の実施
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■大会や関連事業を直接的・間接的に、子どもたちが支え、体験する取組を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ■各学校でのオリンピック・パラリンピアンや外国人を講師とした授業の実施、日本の伝統文化をテーマとした授業の実施等 ■学校連携観戦に向けたオリンピック・パラリンピック競技、障害者スポーツに関する授業の実施
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■大会や関連事業を直接的・間接的に、子どもたちが支え、体験する取組を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ■各学校で、オリンピック・パラリンピアン、芸術家を講師として招へいし、スポーツや文化に関する授業等を実施 ■児童・生徒がオリンピック・パラリンピックの競技を観戦する学校連携観戦を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により参加上限人数が設定され、参加児童・生徒数分の座席数が十分に確保できなくなったこと、緊急事態宣言が発出されたこと等の理由により中止
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人一人の心と体に残る、かけがえのないレガシーを残す。 ・多様性への理解、国際交流、伝統・文化理解、ボランティアなどの取組を大会後も長く続く教育活動として発展させていく。 ・家庭や地域を巻き込んだ取組により、共生・共助社会の形成につながる。 		
東京2020大会を契機とした効果(成果)		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒に「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」等の資質を育み、府中市、東京都、そして日本の更なる発展の担い手となる人材を育成した。 ・児童・生徒一人ひとりの人生にかけがえのないレガシーを残すことができた。 		

・学校がノウハウを蓄積するとともに、人的ネットワークを構築し、今後、多様性への理解、国際交流、伝統・文化理解、ボランティアなどの取組を教育活動として発展させていくための素地を築くことができた。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

・各学校が蓄積したノウハウや人的ネットワークの今後の教育活動への活用
・各学校が行っている既存の取組と関連付けた、多様性への理解や国際理解等の継続的な発展

令和4年度の新規・レベルアップ事業

【オリンピック・パラリンピックレガシー活用推進事業】

・各学校がオリンピック・パラリンピック教育において発展させてきた活動と、持続可能な開発のための教育（ESD）、ふるさと学習の取組を関連付け、学校の特色としてこれからも継続させる教育活動を「未来へつなぐ府中2020レガシー」として設定し、取り組む。

担 当 課

指導室

事業No. 2		未就学児を対象としたオリンピック・パラリンピック教育の推進
事業概要		
<p>運動などの講師の招待や、大会マスコットキャラクターとのふれあいを通じて、運動などの講師を招き、オリンピック・パラリンピックに興味や関心を持ち、「知る」・「観る」・「体験する」を実現できる環境を作る。さらに、アスリートに対する憧れの気持ちを育てるとともに、自ら進んで運動に親しもうとする幼児を育てる。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■教育内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■東芝ラグビーチームによる実演、幼児ができるタグラグビーとラグビーボールリレーの体験 ■三カ国語の絵本の読み聞かせ ■お茶についての学び体験 ■日本古来の伝承遊び体験
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市内トップチームの選手を招き、スポーツに親しむ ■文化関係講師による講演や体験学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■サッカーやラグビー、室内での運動等、スポーツの体験 ■和太鼓演奏の鑑賞
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市内トップチームの選手を招き、スポーツに親しむ ■文化関係講師による講演や体験学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ゴミ拾いや高齢者入居施設の訪問をとおしたボランティアマインドの向上 ■サッカーやドッジボール、ラグビーなど外部講師による指導および体験 ■お正月の時期に合わせて伝統的な遊びの体験 ■英語の絵本の読み聞かせの実施 ■ラグビー日本代表の公式練習の見学
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市内トップチームの選手を招き、スポーツに親しむ ■文化関係講師による講演や体験学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ラグビーや野球、ドッジボールなど外部講師による指導および体験 ■英語を使った手あそび、歌、踊りなど英語教室の実施 ■和太鼓演奏の鑑賞 ■ラグビーワールドカップ2019日本大会公式キャラクター「し

		ンジー」を施設に招き、ラグビーに親しむ
令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市内トップチームの選手を招き、スポーツに親しむ ■文化関係講師による講演や体験学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ラグビーや野球、ドッチボールなど外部講師による指導および体験の実施 ■市内トップチームの選手を招き、スポーツに親しむ ■文化関係講師による講演や体験学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■講師を招き、巧技台を利用した運動を学んだ ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業の一部中止
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びに対しての意欲や向上心を養う。 ・世界各国に対しての異文化の理解を深める。 ・日本人としての自覚と誇りを醸成する(他者を思いやり、マナーを守り、助け合う)。 		
東京 2020 大会を契機とした効果 (成果)		
<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識をもつ講師を招き、スポーツや日本文化について学び、体験することで、未就学児のスポーツや伝統芸能への関心を高めることにつながった。 ・大会を契機に講師やアスリートとの交流を図ることで、「知る」・「観る」・「体験する」を実践することができ、大会後の目指すレガシーにつながる効果があった。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束後の活動として府中市を拠点とするトップチームの選手との交流の検討 		
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業		
担 当 課	学務保健課及び保育支援課	

■ 大会の気運を高めるイベント・スポーツ大会等の実施

事業No. 3	オリンピック・パラリンピアンを招いた競技体験等の実施	
事業概要		
<p>イベント・スポーツ大会等にオリンピック・パラリンピアンを始めとするスポーツ選手等を招き、競技体験等を実施し、市民との交流を図る。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 府中駅伝競走大会（2月） ▼ 府中市民桜まつり（3～4月） ▼ ボールふれあいフェスタ（6月） 		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■オリンピック・パラリンピアン等による競技体験の実施	■ボールふれあいフェスタ及び府中駅伝競走大会における、オリンピック・パラリンピアンを招いた競技体験等
平成29年度	■オリンピック・パラリンピアン等による競技体験の実施	■ボールふれあいフェスタにおける、パラリンピック競技体験及び府中駅伝競走大会における、オリンピックを招いた市民との交流等
平成30年度	■オリンピック・パラリンピアン等による競技体験の実施	■東京2020大会に向けたカウントダウンイベント、ボールふれあいフェスタ、府中駅伝競走大会、スポーツ機会拡大事業等において、オリンピック等を招いた競技体験の実施による市民との交流等
令和元年度	■オリンピック・パラリンピアン等による競技体験の実施	■ボールふれあいフェスタ及び府中駅伝競走大会、またスポーツ機会拡大事業において、オリンピック等を招いた競技体験の実施による市民との交流等
令和2年度	■オリンピック・パラリンピアン等による競技体験の実施	■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
令和3年度	■オリンピック・パラリンピアン等による競技体験の実施	■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業の一部中止

	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ機会拡大事業においてオリンピックを招いた競技体験の実施による市民との交流等 ■ 若松小学校でパラリンピアン等を招いてゴールボール体験競技体験の実施
大会後に目指すレガシー	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・ 新たな大会参加者を獲得する。 ・ スポーツへの関心の増大及び実施意欲の向上につながる。 ・ 障害者スポーツを通じた障害者の理解を深める。 	
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールふれあいフェスタでは、各トップチームの選手やオリンピック・パラリンピアンと市民が交流することで、市内のスポーツ気運の醸成を図ることができた。 ・ スポーツ機会拡大事業ではオリンピックを講師として招いた講習会を始め、経験者だけではなく、初心者がそのスポーツに関心を持てるような体験会を実施し、市内のスポーツ気運の醸成に寄与することができた。 ・ 府中駅伝競走大会ではコースを市街地にしたほか、ゲストランナーとしてオリンピック・パラリンピアンを招き、参加者と交流することで、スポーツへの関心の増大及び実施意欲の向上に寄与することができた。 	
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールふれあいフェスタの継続実施およびさらなる発展（実施場所の変更等） ・ 府中駅伝競走大会の市街地コースでの継続（ゲストランナーの招待は終了） 	
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業	
担 当 課	スポーツ振興課、地域コミュニティ課ほか



第73回府中駅伝競走大会（令和元年度）※末續慎吾氏を招待

事業No. 4	オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施	
事業概要		
ラグビーワールドカップ2019では、調布市の東京スタジアムで開会式及び開幕戦が行われる。また、東京2020オリンピック・パラリンピックでは、東京スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザで各競技が行われるとともに、自転車競技は市内等が競技コースとなる予定であることから、オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントを実施する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■実施内容の検討	■既存イベント等での競技紹介に関する検討
平成29年度	■オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施	■1000日前イベント、みんなのスポーツ day、ボールふれあいフェスタ等におけるフェンシングやボッチャ、車いすバスケット体験会の実施等
平成30年度	■オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施	■500日前イベント、みんなのスポーツ day、ボールふれあいフェスタ等におけるボッチャ体験会の実施等
令和元年度	■オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施	■桜まつり、みんなのスポーツ day、ボールふれあいフェスタ、サイクリングフェスティバル等における車いすバスケットボールやボッチャ、ラグビー、ロードバイク体験会の実施等
令和2年度	■オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施	■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
令和3年度	■オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施 ■東京2020大会チケットを活用した事業の実施 ■コミュニティライブサイト・パブリックビューイングの実施	■臨場感 LIVE ビューイング(コミュニティライブサイト)の実施 ■東京2020パラリンピックパネル展の実施 ■東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー展示会の実施 ■若松小学校でパラリンピアン等を招いてゴールボール体験競技体験の実施

■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業の一部中止

大会後に目指すレガシー

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。
- ・スポーツへの関心の増大及び実施意欲の向上につながる。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

- ・東京2020大会で世界中のアスリートや日本人の活躍、また府中市応援アスリートの活躍を通して、市民のスポーツへの関心の増大及び実施意欲の向上につながった。
- ・ボールふれあいフェスタでは、各トップチームの選手やオリンピック・パラリンピアンと市民が交流することで、市内のスポーツ気運の醸成を図ることができた。
- ・みんなのスポーツ day においても、パラスポーツ体験コーナーを設置するなど、Tokyo2020大会の気運醸成に寄与することができた。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・市ゆかりのアスリート等と連携したオリンピック・パラリンピック競技紹介の継続実施
- ・ボールふれあいフェスタの継続実施およびさらなる発展（実施場所の変更等）
- ・みんなのスポーツ day でのパラスポーツ体験コーナーの設置

令和4年度の新規・レベルアップ事業

【パラスポーツの普及事業】

- ・パラリンピックスポーツ競技体験会の実施

担 当 課

政策課、スポーツ振興課ほか



東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた開催500日前
記念イベント in 府中

事業No. 5		オリンピック等の取組について考える意見交換会の実施
事業概要		
<p>オリンピック等に向けて実施する市の取組については、市民等との協働により、市全体が一体となって取り組む必要があることから、市民が参加する意見交換会を開催する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■意見交換会の開催 ■翌年度の実施の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進会議」を設立 ■オリンピック・パラリンピックをテーマとした市民協働のまちづくりカフェ開催
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■意見交換会の開催 ■翌年度の実施の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進会議」でオリンピック等に向けた市全体でのおもてなし体制の構築を検討 ■オリンピック・パラリンピックをテーマとした市民協働のまちづくりカフェ開催
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■意見交換会の開催 ■翌年度の実施の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピック等に向けた取組を市内関係者と協働で進めていくため、「東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会」を設立 ■市民やベンチャー企業と協働してオリンピックをどう迎えるかを考えるプロジェクト検討会を実施
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■意見交換会の開催 ■翌年度の実施の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会でおもてなしの取組等について検討 ■オリンピック・パラリンピックをテーマとした市民協働のまちづくりカフェ開催

		■市民やベンチャー企業と協働して「市民総出のおもてなし大作戦」を企画・実施
令和2年度	■意見交換会の開催 ■翌年度の実施の検討	■東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会でおもてなしの取組等について検討
令和3年度	■意見交換会の開催	■東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会でおもてなしの取組等について検討・実施
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・オリンピック等に多くの市民が関わることで、市民の協働意識が向上する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック等に向けた市の取組を、市民との協働により準備・実施できた。 ・市民と市職員によるワークショップを通し、市民が自分のできることで大会を盛り上げようという雰囲気醸成することができた。 ・市民やベンチャー企業との協働を通し、オリンピックをどう迎えるかを考えるプロジェクト検討会から発展し、「市民総出のおもてなし大作戦」の企画・実施を市民協働で実現した。企画・運営メンバーはその後「おもてなし府中実行委員会」という団体を立ち上げ、助成金を受けてホームページを開設するなど、市民主導の取組として、府中の魅力を発信する取組を継続している。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・「市民総出のおもてなし大作戦」から発生した市民活動の支援の継続（プラッツ等において） 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	政策課、協働推進課ほか	



市民協働のまちづくりカフェ

事業No. 6		オリンピック等に関連した講演会・講座等の実施
事業概要		
<p>オリンピックを招いた講演会又はオリンピック等に関連した講演会・講座等を開催し、市民の大会への理解を深める。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 生涯学習センターにおけるオリンピック等関連講座（随時） ▼ 市民協働まつり（毎年11月） <ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピアン・パラリンピアン・指導者による講演 ▼ 元気フォーラム（隔年） <ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピアン・パラリンピアン等の活躍を支える、運動・食事・メンタル面等を整えるためのプロフェッショナルの人材による講演 ▼ 男女共同参画週間周年記念事業（令和元年度） <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性アスリートやパラリンピアンによる講演 		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■講演会・講座等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピックを招いたジュニアスポーツ指導者向け講習会 ■オリンピック等を招いた定期講座「スポーツを見よう！楽しもう！～オリンピックを10倍楽しむ方法」 ■パラリンピアンを招いた、けやき寿学園「いのち～残された機能での人生～」 ■全盲のピアニスト、辻井伸行氏の母・いつ子氏による、あきらめない生き方の考え方をテーマとした講演会（元気フォーラム） ■生島淳氏、瀬川智弘氏、吉田信一選手を招き、「Road to 2019-2020 キックオフイベント」を開催
平成29年度	■講演会・講座等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■JOC強化スタッフも務める講師を招いたスポーツ指導者向け講習会の実施 ■東芝プレイブルーパス、日本ラグビーフットボール協会と協力したラグビー体験イベント「みんなのラグビー小学校」の実施

		<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピック応援グッズを製作する「みんなで！バルーンアート体験」の実施 ■田口亜紀氏ほかボランティア経験者を招き、「おもてなしフォーラム 2017 in FUCHU」を開催
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■講演会・講座等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ機会拡大事業において、オリンピック競技の講演会の実施 ■大西泰斗教授による「古い英語学習・新しい英語学習～ハートで感じる英文法～」講演会の実施、英語でのおもてなし等の学習実施 ■バスケットボールやバレーボールでの「生涯学習センター杯」の大会実施 ■小学生を対象とした「ランチャレンジ」イベントの開催 ■「こどもエアトランポリン体操教室」の開催 ■「夏休み子ども和菓子教室」実施で日本文化を知る機会を提供 ■大前光市氏と Alphact によるダンス&トークショーを開催 ■池谷幸雄氏による「夢は果てしなく永遠に」（東京2020公認プログラム 府中市健康応援事業・元気フォーラム2018）の講演会の開催 ■「イングランド&フランスラグビーフェスティバル in 府中」で、小澤大選手、村上晃一氏によるトークショーを開催 ■「福祉まつり」で、北澤豪氏によるトークショーを開催

<p>令和元年度</p>	<p>■講演会・講座等の実施</p>	<p>■「府中市民桜まつり」で、大野均選手、平野早矢香氏によるトークショーを開催</p> <p>■スポーツ機会拡大事業において、オリンピック競技の講演会の実施等</p> <p>■大西泰斗東洋学園大学教授による「訳せるだけの英語力から話す英語力へ」講演会の実施、英語でのおもてなし等の学習実施</p> <p>■生涯学習センター館内レストランにおいて「英会話カフェ」の実施により外国人とのコミュニケーション力向上講座を開講</p> <p>■バレーボールでの「生涯学習センター杯」の大会実施。地域チーム交流促進によるスポーツへの関心喚起</p> <p>■小学生を対象とした「ランチャレンジ」イベントの開催</p> <p>■水泳の「タイムトライアル」イベント実施し、オリンピック記録を紹介</p> <p>■「FC 東京クリニック」開催。地域クラブチームによる競技スポーツへの関心喚起</p> <p>■橋本聖子氏、山縣亮太選手、杉浦佳子選手、藤井美穂選手を招き、「アスリートトーク in 府中」を開催</p>
<p>令和２年度</p>	<p>■講演会・講座等の実施</p>	<p>■ごく簡単な挨拶や道案内等が出来るよう「やさしい英会話」講座の実施により外国人とのコミュニケーション力向上を図る講座を開講</p> <p>■平和のつどいでの森末慎二氏による講演</p>

<p>令和3年度</p>	<p>■講演会・講座等の実施</p>	<p>■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業の一部中止</p> <p>■スポーツ機会拡大事業において、オリンピック競技の講習会の実施等</p> <p>■「福祉まつり」で、大前光市氏ほかダンサーを招いたダンス・トークショーをオンライン配信</p> <p>■「平和」を考えるウィークでの荻原次晴氏による講演</p> <p>■山口和幸氏、大野均氏を招いたオンライントークショーを開催</p>
<p>大会後に目指すレガシー</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・「男女共同参画」の更なる推進と普及につながる。 ・ボランティアに対する市民意識の向上につながる。 ・市民の協働意識を醸成する。 ・スポーツを通じた健康づくりをPRする。 		
<p>東京2020大会を契機とした効果（成果）</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックを講師として招いた講習会をはじめ、経験者だけではなく、初心者がそのスポーツに関心を持てるような体験会を実施し、市内のスポーツ気運の醸成に寄与することができた。 ・大会を契機とした講座やおもてなしの講座により、スポーツや異文化への関心が深まった。 ・オリンピックメダリストの経験から、スポーツそのものの振興だけでなく、日々の健康づくりが基本であることや、次世代を担う子供たちへメッセージを送ることができ、オリンピックに向けて気運を高めることができた。 ・講演会当日に健康に関する情報や地域のつながりの強化・ソーシャルキャピタルの醸成についての取組み等を展示することにより、健康意識を高めることができた。 		
<p>今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京大会で培った「世界と繋がる」ことの講座への反映（語学や異文化など講座への活用等） 		
<p>令和4年度の新規・レベルアップ事業</p>		
<p>担当課 スポーツ振興課、文化生涯学習課、協働推進課、健康推進課ほか</p>		

事業No. 7	オリンピック等関連事業と連携した交通安全啓発事業の実施	
事業概要		
<p>本市が自転車競技ロードレースのコースとなり、市民の自転車の安全運転に対する関心もますます高まっている中、オリンピック等に関する各種事業と連携し、交通安全教室等の交通安全に関する啓発事業を実施する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	—	—
平成30年度	—	■自転車シミュレータを活用した交通安全教室の実施
令和元年度	■交通安全啓発事業の実施	■自転車シミュレータ、クイックフィンガーなどを活用した交通安全教室の実施
令和2年度	■交通安全啓発事業の実施	■自転車シミュレータ、クイックフィンガーなどを活用した交通安全教室の実施
令和3年度	■交通安全啓発事業の実施	■かぜのみちマナーアップキャンペーンや、自転車無料点検等を通じた、自転車利用者に対する啓発を実施
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する市民意識の向上につなげ、交通事故減少を図る。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ロードレースを契機として自転車への関心が高まった。 関連イベントを実施したことで、交通安全への啓発を行うことができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者に向けた交通安全啓発の実施 ルールの遵守及びマナー向上の推進 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	地域安全対策課	

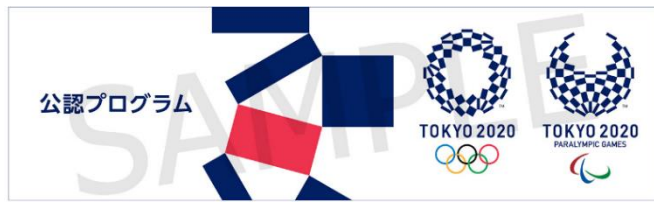


自転車シミュレータを用いた自転車の安全運転PR

■ 大会関連ブースや啓発物品等による大会PR活動の実施

事業No. 8	東京2020参画プログラム ^{※2} への参加	
事業概要		
オリンピック等の気運醸成に向けて、既存事業を含めたイベントについて、2020組織委員会が認証する「東京2020参画プログラム」に、積極的に参加する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■東京2020参画プログラムの申請・承認・事業の実施	■公認プログラム認証6件
平成29年度	■東京2020参画プログラムの申請・承認・事業の実施	■公認プログラム認証26件
平成30年度	■東京2020参画プログラムの申請・承認・事業の実施	■公認プログラム認証24件
令和元年度	■東京2020参画プログラムの申請・承認・事業の実施	■公認プログラム認証21件
令和2年度	■東京2020参画プログラムの申請・承認・事業の実施	■公認プログラム認証4件
令和3年度	■東京2020参画プログラムの申請・承認・事業の実施	■公認プログラム認証3件
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・各事業の活性化につながる。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会の関連事業を公認プログラムとして実施したことで、大会開催に向けた市民の気運醸成につながった。 ・事業を通して本市が行っている東京2020関連の取組をPRすることができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	全課	

※2 東京2020参画プログラム：東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、各自治体の実施する大会に関連するイベント等を、組織委員会が認証することで、多くの国民が大会に参画できるプログラムのこと。



東京2020参画プログラムの公認及び応援マーク

事業No. 9		図書館における特集展示・企画展の実施
事業概要		
市立図書館において、オリンピック等をテーマにし、関連する本を集め、特集展示・企画展を実施する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの特集展示の実施	■7月末～8月「五輪とブラジル」特集展示 ■9月「リオデジャネイロパラリンピック」特集展示
平成29年度	■平昌（ピョンチャン）オリンピック・パラリンピックの特集展示の実施	■平成30年1月～2月「平昌オリンピック・パラリンピック」特集展示
平成30年度	■サッカーワールドカップの特集展示の実施	■平成30年6月1日～7月9日「サッカーワールドカップ」特集展示
令和元年度	■ラグビーワールドカップ2019の特集展示の実施	■「図書館員からのパス～図書館＋ラグビー＝？～」と題し、様々な本を紹介 ■特集以外に、「とことん楽しむ！ラグビーワールドカップ2019＜ラグビーのまち府中＞企画展」を開催
令和2年度	■東京2020オリンピック・パラリンピックの特集展示の実施	■令和2年8月28日～10月10日「夢を追って」特集展示
令和3年度	■東京2020オリンピック・パラリンピックの特集展示・関連コーナーの実施	■令和3年7月21日から9月5日「おうちで応援」特集展示、ロードレースや東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザで実施された競技に関する資料のリスト配布
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・大会関連本を1か所に集めて、新たに注目を集めやすくすることにより、資料の貸出しの増加につながる。 ・普段借りないジャンルの本を目につきやすくすることで、新たな本との出会いにつながる。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・各大会や競技への理解を深める。 		

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・ラグビーワールドカップ 2019 の企画展をきっかけに市内外の利用者へ「ラグビーのまち府中」の周知ができた。また、ラグビー関連資料群を構築し提供を開始した。
- ・東京 2020 大会の競技関連資料展示、市内と近隣開催競技関連資料のリスト配布を行い、競技への理解を深めるきっかけを作った。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・「ラグビー関連資料」の収集の継続実施

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課	図書館
-------	-----

事業No. 10	各イベントにおける大会関連ブースの設置	
事業概要		
市が主催するイベント等に大会関連ブースを設置し、大会に向けた市の取組等をPRする。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR
平成29年度	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR
平成30年度	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR
令和元年度	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR
令和2年度	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR
令和3年度	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR	■大会関連ブースの設置による市の取組等のPR
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・オリンピック等に関する市の取組を「見える化」することで、スポーツタウン府中の発展等につながる。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会に関する市の取組を紹介、周知していくことで見える化し、市民のスポーツへの関心の増大及び実施意欲の向上につながり、スポーツタウン府中の発展等につながった。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	政策課ほか	



府中市民桜まつりにおける大会関連ブース

事業No. 11 啓発物品等による大会PR活動の実施		
事業概要		
<p>オリンピック等に関連したのぼり旗や横断幕等の啓発物品を作製し、市全体で大会気運を高める。また、大会終了後は、レガシーとしての銘板やモニュメントの作製・設置を行う。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピック等のピンバッチやパンフレット(大会PR・人権啓発等)の各イベントでの配布 啓発物品の作製の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピック等のピンバッチやパンフレット(大会PR・人権啓発等)の各イベントでの配布
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■啓発物品の作製・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピック等のピンバッチやパンフレット(大会PR・人権啓発等)の各イベントでの配布
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■啓発物品の作製・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■エンブレムを用いた府中市オリジナルの掲出物(のぼり旗・横断幕・懸垂幕)を作製し、市内各所へ掲出 ■エンブレムを用いた府中市オリジナルの啓発物品(リーフレット・クリアファイル・ボールペン)を作製し、ピンバッチとあわせて各イベントで配布
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■啓発物品の作製・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■エンブレムを用いた府中市オリジナルの掲出物(バナーフラッグ)を作製し、市内各所へ掲出 ■エンブレムを用いた府中市オリジナルの啓発物品(リーフレット・クリアファイル・ボールペン)を作製し、ピンバッチとあわせて市内関連団体や各イベントで配布
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■啓発物品の作製・配布 ■大規模展示物(大会マスコット像)の作製・設置 	<ul style="list-style-type: none"> ■新日程が記載されたバナーフラッグを作製し、市内各所へ掲出 ■オリンピック・パラリンピック仕様の職員用ネックストラップを作成し、着用 ■大規模展示物の作製
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■啓発物品の作製・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模展示物の設置

	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模展示物(大会マスコット像)の設置 ■レガシー銘板やモニュメントの作製・設置 	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードレースのティッシュやオリンピック・パラリンピックに向けた府中市ガイドブックを作製し、配布 ■ロードレースモニュメントの設置 ■大規模展示物の設置・文化センターにおける巡回展示の実施 ■大会直前のシティドレッシングの実施 ■銘板の設置(予定)
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 		
東京2020大会を契機とした効果(成果)		
<ul style="list-style-type: none"> ・エンブレムを用いたバナーやフラッグ等の啓示物の設置や、グッズの提供をすることで気運醸成をすることができた。 ・大会の実施を後世に伝えるためのモニュメントや銘板を設置した。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・大会の記念のためのモニュメントや銘板の維持管理 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担 当 課		
政策課、スポーツ振興課ほか		



懸垂幕(市庁舎西玄関)



横断幕(府中駅ペDESTロリアンデッキ等)



ポスター、のぼり旗（市内各所）



懸垂幕（市庁舎両玄関）



バナーフラッグ（けやき並木通り）



啓発物品（クリアファイル・ボールペン）

事業No. 12 広報ふちゅう特集記事「世界×府中×〇〇」の連載		
事業概要		
広報ふちゅうの毎月21号に、オリンピック等に関連する記事を掲載し、オリンピック等の情報を発信する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載
平成29年度	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載
平成30年度	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載
令和元年度	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載
令和2年度	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載
令和3年度	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載	■広報ふちゅう「世界×府中×〇〇」の連載 ※10月21日号まで
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・オリンピック等に関する市の取組を「見える化」することで、スポーツタウン府中の発展等につながる。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・本連載を通して、市のオリンピック・パラリンピック関連事業を見える化し、コロナ禍における、各時期に応じた事業を展開し、大会気運の醸成とともに、市のレガシーの方向性を示すことができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	政策課	

世界×府中×ラグビーワールドカップ2019™

ラグビーワールドカップ2019が、9月20日に、東京スタジアムで開幕しました。テレビで、パブリックビューイング会場で、そして試合会場で日本代表の試合を観戦した方も多かったのではないのでしょうか。

本市は、ジャパンラグビートップリーグの強豪、東芝ブレイブルーパスとサントリーサンゴリアスの活動拠点として、これまで両チームと協働しながら大会の気運醸成を行ってきました。

両チームからは、日本代表主将のリーチマイケル選手、徳永祥亮選手、北出卓也選手、ツイヘンドリック選手、流 大選手、中村亮士選手、松島幸太郎選手が代表に選出されています。彼らは日本の代表であり、府中の代表でもあります。府中から選手を応援しましょう。



▲東京スタジアム



▲みんなで盛り上がりましょう！

さらに、本市はイングランドとフランスの公認チームキャンプ地となっており、大会期間中には、両代表チームが市内で大会に向けたトレーニングを実施します。また、市民との地域交流事業も予定されています。海外チームとの交流は非常に貴重な機会となりますので、ぜひ、ご参加ください。

大会に多くの方が楽しく参加できるよう、市では大会期間中、けやき並木通りを中心にパブリックビューイングを実施しています。同時開催の「FUCHU STREET BAR」では飲食を楽しみながら、大型ビジョンで観戦いただけます。

大会は、11月2日(土)の決勝まで続きます。一生に一度の大会を大いに楽しみましょう。

世界×府中×聖火リレー

■オリンピックにおける聖火

オリンピック聖火は、ギリシャの古代オリンピックの太陽光から採火された平和や希望の象徴とされ、オリンピックムーブメントの最も力強い象徴となり、聖火ランナーが、リレーによりつないでいきます。



▲前回の東京オリンピックで市内を走り抜けた聖火

東京2020聖火リレーのコンセプトは、「Hope Lights Our Way(希望の道を、つなごう)」です。支え合い、認め合い、高め合う心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らし出します。

■オリンピック聖火が府中にやってきました

平成32(2020)年3月26日(木)に福島県を出発する聖火は、日本全国47都道府県を回り、7月10日(金)に埼玉県から東京都に引き継がれ、都内62区市町村を巡回し、7月24日(金)に開会式会場となる新国立競技場に到着します。

1日の終わりに、最終ランナーの到着を祝う式典(セレブレーション)を毎日開催することになってお

り、現在会場選定が行われています。また、都内を巡る15日間の聖火リレールート案も、東京都聖火リレー実行委員会が選定を行っており、平成31(2019)年に発表される予定です。市も実行委員会や組織委員会と連携し、本番までの準備を進めていきます。

■1964年から2020年へ

昭和39(1964)年10月8日、府中市を通過したオリンピック聖火は、あいにくの雨の中にあっても、大勢の観客の拍手とともに迎えられました。56年の時を経て、再びオリンピック聖火を府中市に迎え入れるその時に向けて、一緒に盛り上げていきましょう。

広報ふちゅう特集記事「世界×府中×〇〇」

事業No. 13 オリンピック等の特設ページ・SNSでの情報発信		
事業概要		
<p>オリンピック等に向けて、市民への情報発信及び気運醸成を図るため、市ホームページにオリンピック等の特設ページを設けるとともに、SNSを用いてオリンピック等に関する様々な情報を発信する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<p>■オリンピック等の特設ページでの情報発信 ※ 特設ページは、平成27年度に作成済み</p>	<p>■オリンピック等の特設ページでの情報発信</p>
平成29年度	<p>■オリンピック等の特設ページでの情報発信</p>	<p>■オリンピック等の特設ページでの情報発信</p>
平成30年度	<p>■オリンピック等の特設ページ・SNSでの情報発信</p>	<p>■市ホームページ上のオリンピック等の特設ページでの情報発信 ■ラグビーのまち府中ツイッターでの情報発信 ■オリンピック・パラリンピック担当フェイスブック・インスタグラムの開設、情報発信</p>
令和元年度	<p>■オリンピック等の特設ページ・SNSでの情報発信</p>	<p>■市ホームページ上のオリンピック等の特設ページでの情報発信 ■ラグビーのまち府中ツイッターでの情報発信 ■オリンピック・パラリンピック担当フェイスブック・インスタグラムでの情報発信</p>
令和2年度	<p>■オリンピック等の特設ページ・SNSでの情報発信</p>	<p>■市ホームページ上のオリンピック等の特設ページでの情報発信 ■ラグビーのまち府中ツイッターでの情報発信 ■オリンピック・パラリンピック担当フェイスブック・インスタグラムでの情報発信</p>

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピック等の特設ページ・SNSでの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■市ホームページ上のオリンピック等の特設ページでの情報発信 ■ラグビーのまち府中ツイッターでの情報発信 ■オリンピック・パラリンピック担当フェイスブック・インスタグラムでの情報発信
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・オリンピック等に関する市の取組を「見える化」することで、スポーツタウン府中の発展等につながる。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会の盛り上げにつながった。 ・SNSを利用することで、全国のみならず世界とのつながりが生まれ、本市の取組や魅力を発信することができた。 ・SNSを活用した効果的なPR方法を習得することができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	政策課	



フェイスブック



インスタグラム



ツイッター

■ 東京都や組織委員会、近隣自治体等と連携した取組の実施

事業No. 14 東京都や組織委員会等と連携した取組の実施		
事業概要		
<p>本市では、オリンピック等の開催都市である東京都や運営主体である組織委員会等と連携し、オリンピック等に向けた取組に実施していく。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ リオオリンピック・パラリンピックライブサイト ▼ 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグの到着歓迎セレモニー及びフラッグの展示 ▼ 東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」 		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■リオオリンピック・パラリンピックライブサイトでのPR ■ラグビー日本代表戦のパブリックビューイングの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■リオオリンピック・パラリンピックライブサイトでのPR ■福祉まつりにおける、東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」の実施
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグの到着歓迎セレモニー及びフラッグの展示ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ■府中市民桜まつりにおける東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーの実施 ■府中市役所内におけるフラッグの展示 ■環境まつりにおける、東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」の実施 ■小学校における車いすバスケットボール競技体験会の実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■府中市民桜まつりにおける、東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」の実施 ■東京都主催の「みんなでラジオ体操プロジェクト」への参加 ■第54回府中市民芸術文化祭におけるフラッグの展示

		<ul style="list-style-type: none"> ■小学校における車いすバスケットボール競技体験会の実施
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■キテキテ府中マルシェにおける、東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」の実施 ■「ホストタウンフェスティバル」において、東京都主催でパラ卓球の岩淵幸洋選手のトークショーの実施 ■府中市役所内市民談話室におけるフラッグの展示 ■小学校における車いすバスケットボール競技体験会の実施
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・東京都等との連携体制を構築する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催年度及び前年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各事業の実施が困難となったが、これまでに多くの方々にスポーツ・アスリートの魅力を競技体験や各競技イベントを通じて体感、認知してもらうなど、オリンピック・パラリンピックの応援・気運醸成につなげることができた。 ・東京都や組織委員会等と各事業を通じてより強固な連携体制を構築することができた。 ・市の事業における「NO LIMITS CHALLENGE」の実施により、ボッチャ体験など、パラスポーツ体験を取り入れ、パラリンピックへの気運を高めた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・桜まつりでのボッチャ体験継続の検討 ・TEAM BEYOND パラスポーツ体験プログラム（NO LIMITS CHALLENGE のリニューアルプログラム）の実施検討 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	政策課、スポーツ振興課ほか	



東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた展示会 in 府中
～Tokyo 2020 200Days to Go!～ における
オリンピック・パラリンピックフラッグの展示

事業No. 15 近隣自治体と連携した取組の実施		
事業概要		
<p>調布市に所在する東京スタジアムでは、ラグビーワールドカップの開幕戦などが開催されるとともに、東京2020オリンピックにおいても、7人制ラグビーが開催されることから、近隣自治体である調布市・三鷹市を始め、競技団体や大学等と連携した取組を実施する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■3市連携イベント等の実施	■府中調布三鷹ラグビーフェスティバル開催
平成29年度	■3市連携イベント等の実施	■府中調布三鷹ラグビーフェスティバル開催
平成30年度	■3市連携イベント等の実施	■府中調布三鷹ラグビーフェスティバル開催
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■3市連携イベント等の実施 ■8市連携ロードレース PR 映像の作製 ■30市町村連携ポッチャ多摩カップ（仮称）開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■府中調布三鷹ラグビーフェスティバルの実施 ■ラガマルくんのルールブックの作製 ■トップリグ観戦バスツアーの実施 ■8市連携ロードレース PR 動画の制作 ■府中市ポッチャ大会(東京都市町村ポッチャ大会2020府中市予選)初開催 ■東京都市町村ポッチャ大会への参加 ■TAMAサイクルフェスティバルの開催
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■3市連携イベント等の実施 ■府中市ポッチャ大会(東京都市町村ポッチャ大会府中市予選)開催 	■府中調布三鷹ラグビーフェスティバルの実施
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■3市連携イベント等の実施 ■7人制ラグビー応援物品の作製 ■府中市ポッチャ大会(東京都市町村ポッチャ大会府中市予選)開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■ラガマルくんのラグビーセブンズガイドブックの作製 ■東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス及び府中市、調布市、三鷹市との連携協定締結

	<ul style="list-style-type: none"> ■府中調布三鷹ラグビーフェスティバルの実施 ■新リーグ関連事業の実施 ■ロードレース多摩8市・5市連携事業の実施 ■府中市ポッチャ大会(東京都市町村ポッチャ大会2022府中市予選)開催
大会後に目指すレガシー	
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・東京都、近隣市、競技団体、大学等との連携を強化する。 ・ラグビーに対する市民意識の高揚と、新たなラグビーファン層の開拓につながる。 ・地元トップチームを支える文化の定着につながる。 ・東京スタジアム周辺のラグビーの気運を醸成する。 	
東京2020大会を契機とした効果(成果)	
<ul style="list-style-type: none"> ・調布市・三鷹市との連携、また東京都、サントリー・東芝、大学等との連携が強化された。 ・ラグビーに対する市民意識の高揚と、新たなラグビーファン層の開拓につながった。 ・市町村ポッチャ大会を通じて、26市町村でのパラスポーツの気運の醸成に取り組めた。 ・ロードレース多摩8市および5市でのイベント等を通し、連携が強化された。 	
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も東芝・サントリーとの5者連携をもとに、府中調布三鷹の3市での連携の継続実施 ・ラグビー新リーグのリーグワン開幕に向けた気運醸成 ・ラグビーに関する各市民の東芝・サントリーチームへの愛着を深める取組 ・市町村ポッチャ大会の継続実施 ・26市町村の連携の強化およびパラリンピックのレガシーの育成 ・ロードレース多摩8市および5市との連携の継続実施 	
令和4年度の新規・レベルアップ事業	
<p>【ラグビーのまち府中推進事業】</p> <p>調布市・三鷹市及び東芝・サントリーとの5者協定に基づく連携事業</p>	
担 当 課	政策課及びスポーツ振興課



府中調布三鷹ラグビーフェスティバル2020

事業No. 16 市内関係団体等と連携した取組の実施		
事業概要		
<p>オリンピック等に向けて実施する市の取組については、市内関係団体等との協働により、市全体が一体となって取り組む必要があることから、市内関係団体等で構成する会議を設置し、情報共有や連絡調整を図るとともに、連携した取組を実施する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■会議の設置 会議による情報共有・連絡調整 ■事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■第1回府中市東京オリンピック競技大会等関連事業推進会議開催
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■会議による情報共有・連絡調整 ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■第2・3回府中市東京オリンピック競技大会等関連事業推進会議開催
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■会議による情報共有・連絡調整 ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■「東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会」を設立し、市内関係者間の協働による市全体でのおもてなし体制の構築について検討
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■会議による情報共有・連絡調整 ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会会議の開催
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■会議による情報共有・連絡調整 ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会会議の開催(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面にて開催)
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■会議による情報共有・連絡調整 ■事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会会議の開催
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・市内関係団体等との連携体制を更に強固なものとし、市民協働を進める。 		
東京2020大会を契機とした効果(成果)		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会の開催に向けて市民協働のもと全市的に気運醸成を図ることができた。 ・市内関係団体等との連携体制が強固なものとなり、市民協働を推進することができた。 		

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課 政策課ほか

事業No. 17 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参画

事業概要

使用済小型家電に含有される金・銀・銅を用いて入賞メダルを作成するプロジェクトに参画する。

イベント回収、拠点回収、さらに市が協定を締結しているリネットジャパン株式会社による宅配回収にて回収した小型家電を本プロジェクトに提供することで、オリパラの気運醸成に資するとともに、小型家電リサイクル法に基づく使用済小型家電回収の更なる普及を図る。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	■プロジェクトへの参画及びイベント回収、拠点回収の実施	■市役所西庁舎入口への携帯電話回収BOXの設置(回収量：99.8kg) ■環境まつりにおけるイベント回収の実施(回収量：82kg)
平成30年度	■イベント回収、拠点回収の実施(必要量が集まった時点で事業終了)	■市役所西庁舎入口への携帯電話回収BOXでの回収(回収量：145kg) ■環境まつりにおけるイベント回収の実施(回収量：27kg) ■リサイクルフェスタにおけるイベント回収の実施(回収量：41.6kg)
令和元年度	—	—
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—

大会後に目指すレガシー

- ・大会に向けた市民の気運の高まりと参加意識の拡大。
- ・小型家電リサイクル法に基づく使用済小型家電回収の更なる普及を図る。

東京2020大会を契機とした効果(成果)

- ・東京2020大会メダルプロジェクト参加の結果、携帯電話3,129台(354.8kg)を回収することができ、金メダル約26個分の金を集めることができた。
- ・東京2020大会を通し、携帯電話には貴重な資源が使われていることに対する市民の理解を深められ、さらには小型家電に使用されている資源もリサイクル可能であるという意識付けができたため、使用済み小型家電回収のさらなる普及が期待できる。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・小型家電回収の継続的な取組の実施
- ・回収増加による知的障がいのある方の雇用創出およびスペシャルオリンピックスへの寄付

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課

ごみ減量推進課



■ 聖火リレーの誘致

事業No. 18 聖火リレーの誘致		
事業概要		
<p>東京2020オリンピック・パラリンピックの一大イベントである聖火リレーのコースが市内を通るよう、東京都や近隣自治体等と連携し、2020組織委員会へ要請する。</p> <p>また、市民が聖火ランナーとして参加できるよう、2020組織委員会等の団体に対して、要請する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■2020組織委員会等に対する要請の実施	—
平成29年度	■2020組織委員会等に対する要請の実施	■オリンピック聖火リレーが都内全市町村を巡るよう、要請の実施
平成30年度	■2020組織委員会等に対する要請の実施	■オリンピック聖火リレーが都内全区市町村（島しょ含む）を巡ることが決定
令和元年度	■聖火リレーのルート等の決定	<p>■オリンピック聖火リレー：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行日、走行自治体順の決定及びセレブレーション会場の一つに市の東京競馬場が決定 ・走行ルートが決定 ・市内を含むランナーが決定 ・聖火リレーサポーター（ボランティア）募集 <p>■パラリンピック聖火リレー：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内を通過することが決定（都内は23区市のみ） ・走行日、走行自治体順が決定
令和2年度	■オリンピック・パラリンピック聖火リレーの実施内容の再検討	<p>■延期後の新日程が決定</p> <p>■聖火リレーサポーター（ボランティア）の再募集</p> <p>■交通事業者をはじめとする関係機関と聖火リレー実施運営に係る協議・調整</p> <p>■聖火リレーPRに関する市内装飾</p>

令和3年度	<p>■オリンピック・パラリンピック聖火リレーの実施</p>	<p>■オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ展示(市民桜まつり同時開催、東京2020大会関連グッズ展示会)</p> <p>■交通事業者をはじめとする関係機関への説明・協議・調整</p> <p>■オリンピック聖火リレー点火セレモニー開催(新型コロナウイルス感染症の拡大により公道走行中止)</p> <p>■パラリンピック聖火リレー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内ルートが決定 ・パラリンピック聖火フェスティバル(採火式・ビジット)開催 ・点火セレモニー開催(新型コロナウイルス感染症の拡大により公道走行中止)
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック等への市民の参画意識を醸成する。 ・市民の心のレガシーを創出する。 		
東京2020大会を契機とした効果(成果)		
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック聖火リレーについては、セレブレーション会場となる市内の東京競馬場で、点火セレモニーが無観客で開催されたが、インターネットのライブ中継で同会場が放映されたことで、市のPRにつながった。 ・公道走行の中止に伴い、ボランティア活動も中止となったものの、多くのボランティアから活動意向が示され、(オリンピック:約600人、パラリンピック:約300人)イベント終了後も今後市の事業等で活動したいという声が多くあった。今後も市の事業に積極的に参加する市民が増えることが期待できる。 ・将来の府中市を担う子どもが参加する機会を創出でき、素晴らしい経験・レガシーとして残すことができた。(府中四小ハーモニーブリーズジャズオーケストラの中継出演、聖火ランナーとして参加した市内高校生など) ・主に地域の方々にパラリンピック聖火フェスティバルのボランティアスタッフとして参加していただき、大会を通じた地域連携と、気運醸成につなげることができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・トーチ(市で購入)等の聖火リレーにまつわるグッズを市民が間近で見られる機会の創出(イベント等の実施) ・聖火ランナーとして、府中とのゆかりが生まれた著名人たちとのつながりの継続および今後の市の事業等で活動機会の提供の検討 		

・将来的に市内の聖火リレールートを活用したイベント等の開催の検討（他自治体の事例等を踏まえ調査・研究等）

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担当課 政策課ほか



前回の東京オリンピックにおける聖火リレー

■ 市職員を対象とした大会気運の醸成

事業No. 19 市職員向け研修の実施		
事業概要		
市職員向けに外国人おもてなし語学研修などの研修会やオリンピック等に関連した講演会を実施する。 また、東京都等が主催するオリンピック等の講演会に職員を派遣する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修内容の検討・実施 ■ 東京都等が主催するオリンピック等の講演会への職員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修実施に向けた内容の検討
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外国人おもてなし研修の実施 ■ 東京都等が主催するオリンピック等の講演会への職員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外国人おもてなし研修の実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修内容の検討・実施 ■ 東京都等が主催するオリンピック等の講演会への職員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般職員向け人権啓発研修(テーマ:性的マイノリティ・パートナーシップ宣誓制度について)の実施 ■ 新任職員研修において、「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組」の実施
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修内容の検討・実施 ■ 東京都等が主催するオリンピック等の講演会への職員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般職員向け人権啓発研修(テーマ:性的マイノリティ・パートナーシップ宣誓制度について)の実施 ■ 新任職員研修において、「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組」の実施 ■ 年齢、性別、国籍、障害の有無などの違いに関係なく対応するマナーについて学ぶ、ユニバーサルマナーセミナーの実施
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修内容の検討・実施 ■ 東京都等が主催するオリンピック等の講演会への職員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修内容の検討・実施 ■ 東京都等が主催するオリンピック等の講演会への職員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新任職員研修において、「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組」を実施

	<p>■新任職員研修において、「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組」の実施</p>	<p>■一般職員向け人権啓発研修(テーマ:最近の人権問題の動向等について)の実施</p>
<p>大会後に目指すレガシー</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・オリンピック等を契機とした、市職員の障害者や外国人等に対するおもてなしの心を醸成する。 		
<p>東京2020大会を契機とした効果(成果)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会の開催に向けた気運を醸成できた。 ・これまでの研修を通じて、外国人観光客へのおもてなしや、共生社会を実現するために必要な知識(人権等)を市職員に周知することができた。 		
<p>今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え</p>		
<p>令和4年度の新規・レベルアップ事業</p>		
<p>担 当 課</p>	<p>政策課及び職員課</p>	

事業No. 20 第4次府中市職員工コ・アクションプランの推進		
事業概要		
<p>平成26年8月に環境省が示している「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした環境配慮の推進について」において、「環境にやさしい五輪」・「環境都市東京」の実現が掲げられている。これに基づき、各課において、施設の低炭素化及び再生可能エネルギーの地域間連携を促進する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■環境に配慮した行動の更なる推進	■指定管理施設における、低炭素化を目的とした指定管理推進員の設置及び研修
平成29年度	■環境に配慮した行動の更なる推進	■指定管理施設における、低炭素化を目的とした指定管理推進員の設置及び研修
平成30年度	■環境に配慮した行動の更なる推進	■指定管理施設における、低炭素化を目的とした指定管理推進員の設置及び研修
令和元年度	■環境に配慮した行動の更なる推進	■指定管理施設における、低炭素化を目的とした指定管理推進員の設置及び研修
令和2年度	■環境に配慮した行動の更なる推進	■指定管理施設における、低炭素化を目的とした指定管理推進員の設置及び研修
令和3年度	■環境に配慮した行動の更なる推進	■指定管理施設における、低炭素化を目的とした指定管理推進員の設置及び研修
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の環境配慮についてのPRにつながる。 ・市職員の環境配慮の意識向上につながる。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の環境配慮についてのPRにつながった。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の環境に配慮した行動の更なる推進 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	環境政策課	

■ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施

事業No. 21 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施		
事業概要		
<p>東京2020オリンピック自転車競技ロードレースのコースが、本市にある武蔵野の森公園をスタートし、富士スピードウェイをゴールとするコースになることが決定したことから、大会の成功と本市におけるレガシーの創出に向けて取組を進めていく。</p> <p>【取組内容】</p> <p>▼気運醸成</p> <p>ロードレースは、本市で行われる唯一の東京2020オリンピック競技であることから、大会への気運を高め、大会当日には全市を挙げて沿道における応援を行うことを目指す。</p> <p>▼沿道整理</p> <p>ロードレースの円滑な運営と、競技実施による市民生活への影響を極力少なくするよう、組織委員会を始めとする関係機関との連携の下、沿道整理対策を行う。</p> <p>▼沿道整備</p> <p>ロードレースの安全で円滑な運営のため、関係課で情報を共有しながら競技に支障がないよう整備を進める。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	—	—
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車競技ロードレースの開催地決定 ■テストイベントのコースサポーターの募集 	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車競技ロードレースの開催地決定 ■テストイベントのコースサポーターの募集 ■ロードレースに関する地域代表者等への説明会の実施 ■ロードレースのPRに関するイベントの実施 ■ロードレースのPRに関する啓発物品の作成・配布
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードレーステストイベントの開催に伴う気運醸成、沿道整理、沿道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードレーステストイベントにおけるコースサポーター、市ボランティアへの活動の場の提供 ■テストイベント当日における市職員の動員

		<ul style="list-style-type: none"> ■テストイベント実施に係る交通規制等の周知 ■テストイベント当日におけるけやき並木での盛り上げイベントの実施 ■テストイベントの運営に係る施設等の活用 ■ロードレースに関する地域代表者等への説明会の実施 ■ロードレースのPRに関するイベントの実施 ■ロードレースのPRに関する啓発物品の配布 ■コース上の埋設企業者との工事調整 ■コース及び周辺の樹木剪定 ■沿道整備
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードレース開催に向けた気運醸成事業の実施及び各関係機関との沿道整理、沿道整備についての連携調整 	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードレース当日の盛り上げ等に関する検討会議の設置及び検討 ■ロードレースPRに関する市内装飾 ■ロードレース参加国及び選手への応援グッズの作成・市内装飾
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードレース開催に伴う気運醸成、沿道整理、沿道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードレース当日の盛り上げ等に関する検討会議の開催 ■ロードレース参加国及び選手への応援グッズの作成・市内装飾 ■ロードレースのPRに関する市内装飾（モニュメントの設置） ■ロードレースPRに関する他自治体との連携事業の実施（スタンプラリーイベント） ■ロードレース実施に係る交通規制等の周知 ■ロードレース実施に係る交通事業者等との調整

	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードレース当日における警察・消防等との連携 ■ロードレース当日におけるコースサポーターへの活動の場の提供 ■ロードレース当日における市職員の動員 ■ロードレースの運営に係る施設等の活用 ■コース上の埋設企業者との工事調整 ■コース上の樹木剪定、枯枝の処理、道路施設の清掃 ■コース上の道路施設の安全点検・パトロール
--	---

大会後に目指すレガシー

- ・東京2020オリンピックの開催に向けた気運を醸成する。
- ・市民の心のレガシーを創出する。

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・市内の広範囲がコースとなったことで、多くの市民の記憶に残るレースとなった。
- ・本市のコースが世界に配信されたことで、市の観光PRにつながった。
- ・ロードレース当日には多くのボランティアが活動し、これを機に今後市の事業等で活動したいという市民の増加が期待できる。
- ・大会前に都内通過自治体8市による連携事業として、都内コースを巡るスタンプラリーイベントを開催し、本市の魅力を発信した。
- ・市内小中学校の児童・生徒が選手に向けた応援のぼり旗・横断幕を作成し、コース沿道等に設置したことで、学校との連携を図るとともに、子どもたちが東京 2020大会に参加する機会の創出ができた。
- ・地域の方々が中心となり、選手への応援寄せ書きを作成し、ロードレース当日に沿道のフェンスに設置したことにより、地域との連携を強化し、全市的に大会気運醸成をすることができた。
- ・大会前に沿道の整備等を行うことで、開催当日まで、特に事故等はなく、無事に大会が終了した。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・本市を自転車の聖地としてPRすることを目指し、定例的な自転車関連イベントの実施
- ・大会で活動したボランティア（コースサポーター）とのつながりの継続
- ・今後の市の事業等におけるボランティアへの活動の機会の提供の検討

・将来的に市内コースを活用したレースやイベントの開催を目指した検討（他自治体の事例等を踏まえた調査・研究）

・コース上を含めた周辺市道の安全で快適な道路空間の創出

令和4年度の新規・レベルアップ事業

【サイクリングフェスティバル】

・複合型サイクリングイベントの実施

担 当 課

政策課、道路課ほか



本市においては、東八道路、小金井街道、桜通り、けやき並木通り大國魂神社境内、及び府中街道を通過する約7キロメートルの広範囲なコースとなる。

キャンプ地の誘致

本市は、オリンピック等の開催場所から近いという立地性や、市内を活動拠点とするトップチームを有するという優位性をいかし、オリンピック等の参加選手等と市民との交流を図るとともに、本市の知名度を向上させるため、市内の関係団体やトップチーム等と連携し、キャンプ地の誘致を目指します。

このキャンプ地の誘致に向けては、各大会の組織委員会や各国との協議により、受入れに必要な整備を実施します。さらに、誘致に成功した場合には、選手と市民との交流会を開催します。

取組とレガシー

(1) 取組

ア 国内外に向けたキャンプ地の誘致活動の実施

▼ 各国・各団体へのキャンプ地の誘致活動の実施

イ キャンプの受入れに必要な施設の整備

▼ キャンプの受入れに必要な施設の整備

ウ 市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との連携

▼ 市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築

エ キャンプ地決定後の取組

▼ キャンプ実施国の理解を深める取組の実施や市民との交流機会の創出

(2) 取組によるレガシー

◆ キャンプ実施国の選手と市民との交流により、国際交流の機会を拡充し、交流を継続します。

◆ キャンプの実施により、本市の知名度が向上します。

【参考】オリンピック等におけるキャンプ地の選定プロセス

	ラグビーワールドカップ2019	東京2020オリンピック ・パラリンピック
平成28年度	2019組織委員会への申請・審	
平成29年度	各国の実地視察	
平成30年度	公認チームキャンプ地 ^{※3} 決定	
令和元年度	キャンプの実施	
令和2年度		
令和3年度		

※3 ラグビーワールドカップ2019では、大会開催前に各国が独自に行うキャンプを「事前チームキャンプ」、大会開催時に各国が行うキャンプを「公認チームキャンプ」としている。公認チームキャンプ地の手続は、全てラグビーワールドカップ2019組織委員会（以下「2019組織委員会」といいます。）を通して行う。また、事前チームキャンプの誘致については、市が各国と独自に交渉を行い、決定する。

■ 国内外に向けたキャンプ地の誘致活動の実施

事業No. 22 各国・各団体へのキャンプ地の誘致活動の実施		
事業概要		
<p>ラグビーワールドカップ2019については、2019組織委員会が取りまとめている公認チームキャンプ地に向けた申請を行う。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックについては、各国・各団体に対して、本市をPRするため、2020組織委員会や東京都のホームページに市内の施設を掲載するほか、本市が作成したパンフレット「府中市スポーツキャンプガイド」を活用し、PR活動を行う。また、作成した横断幕や懸垂幕を各施設に設置するなど、市全体でキャンプ地誘致に向けた気運を醸成する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	【ラグビーワールドカップ2019】 ■公認チームキャンプ地の申請 【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■各国・各団体へのPR及び交渉 キャンプ地の決定	【ラグビーワールドカップ2019】 ■公認チームキャンプ地の申請 【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■各国・各団体へのPR及び視察 団の受入れ
平成29年度	【ラグビーワールドカップ2019】 ■各国による実地視察 公認チームキャンプ地の決定 【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■各国・各団体へのPR及び交渉 キャンプ地の決定	【ラグビーワールドカップ2019】 ■各出場予定チームによる実地 視察の受入れ 【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■オーストラリア野球連盟とオリ ンピック等の事前キャンプに関す る覚書の締結、野球オーストラリ ア代表の事前キャンプの実施
平成30年度	【ラグビーワールドカップ2019】 ■キャンプ地の決定 ■キャンプの受入れ準備 【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■各国・各団体へのPR及び交渉 キャンプ地の決定	【ラグビーワールドカップ2019】 ■イングランド及びフランスの公 認チームキャンプ地に決定 ■決勝トーナメントの公認チー ムキャンプ地に決定
令和元年度	【ラグビーワールドカップ2019】 ■キャンプの受入れ 【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■各国・各団体へのPR及び交渉 ■キャンプ地の決定	【ラグビーワールドカップ2019】 ■フランス・イングランド・南ア フリカの各代表キャンプの受入れ 【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■東京2020オリンピックに向 けたJOC認定競技別強化セン

		<p>ターとして男女7人制ラグビー 日本代表のキャンプの受入れ</p> <p>■オーストリア卓球連盟及びオーストリアオリンピック委員会と東京2020オリンピック等に向けた事前キャンプに係る覚書を締結</p> <p>■野球オーストラリア代表の事前キャンプ実施</p>
令和2年度	<p>【東京2020オリンピック・パラリンピック】</p> <p>■車いすバスケットボールオーストラリア代表の事前キャンプ誘致及び事前キャンプ受入れに係る覚書の締結</p> <p>■男女7人制ラグビー日本代表キャンプの受入れ</p>	<p>【東京2020オリンピック・パラリンピック】</p> <p>■車いすバスケットボールオーストラリア代表の事前キャンプの誘致</p> <p>■東京2020大会の開催延期に伴う、事前キャンプに関する協議</p> <p>■男子7人制ラグビー日本代表キャンプの受入れ</p>
令和3年度	<p>【東京2020オリンピック・パラリンピック】</p> <p>■車いすバスケットボールオーストラリア代表の事前キャンプ誘致及び事前キャンプ受入れに係る覚書の締結</p> <p>■各国競技代表キャンプの受入れ</p>	<p>【東京2020オリンピック・パラリンピック】</p> <p>■新型コロナウイルス感染症の影響等による野球及び車いすバスケットボールオーストラリア代表の事前キャンプの中止</p> <p>■卓球オーストリア代表の事前キャンプ受入れ</p> <p>■7人制ラグビー日本代表キャンプの受入れ</p>
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が各国のトップアスリートと触れ合う機会を創出し、国際交流の機会の拡充につながる。 ・キャンプ実施国との交流を継続する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・RWC2019及び東京2020大会に出場した各国（各競技）代表チームのキャンプの受入れにより、国際大会に向けたキャンプ受入れについてのノウハウが培われた。 ・「ラグビーのまち府中」として日本ラグビーフットボール協会をはじめとする関係機関との連携が強化された。 ・オーストリア卓球連盟及びオーストラリア野球連盟、並びにオーストラリアバスケットボール連盟とのネットワークを構築することができた。 		

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

・国内で開催される競技大会等に向けたキャンプの受入れなど、引き続き各代表チームとの交流の継続

令和4年度の新規・レベルアップ事業

【ラグビーのまち府中推進事業】

・日本ラグビーフットボール協会等と連携し、ラグビー日本代表の事前キャンプの受入れの実施。

担 当 課

政策課及びスポーツ振興課



懸垂幕（市役所東玄関）



のぼり旗（西玄関）



府中市民桜まつり（パレード）でのPR活動



府中市スポーツキャンプガイド（日本語版・英語版）



オーストラリア野球連盟と覚書を締結



オーストラリア卓球連盟及びオーストラリアオリンピック委員会と覚書を締結

■ キャンプの受入れに必要な施設の整備

事業No. 23 キャンプの受入れに必要な施設の整備		
事業概要		
<p>キャンプの受入れには、一定の基準を満たした練習施設などが必要になることから、2019組織委員会や各国と協議の上、必要な施設を整備する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■施設整備の検討	【ラグビーワールドカップ2019】 ■公認チームキャンプ地ガイドラインに基づき、関係課との調整及び施設整備内容検討
平成29年度	■施設整備の実施	【ラグビーワールドカップ2019】 ■公認チームキャンプ地ガイドラインに基づき、芝生改良、セキュリティフェンス設置、防球ネット設置、トレーニング棟・管理棟の新設、メディア棟の改修
平成30年度	■施設整備の実施	【ラグビーワールドカップ2019】 ■公認チームキャンプ地ガイドラインに基づき、トレーニング機器導入、Wi-Fi設備の設置 ■夜間照明設備の設置
令和元年度	【ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■大会に向けたキャンプの受入れ	【ラグビーワールドカップ2019】 ■公認チームキャンプ地ガイドラインに基づく良好な環境の維持 【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■府中朝日フットボールパークがJOC認証競技別強化センターに認定 ■卓球オーストラリア代表のキャンプに向けた備品整備等
令和2年度	【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■大会に向けたキャンプの受入れ ■施設の維持管理	【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■事前キャンプの受入れに向けた施設の維持管理
令和3年度	【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■大会に向けたキャンプの受入れ ■施設の維持管理	【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■事前キャンプの受入れに向けた施設の維持管理
大会後に目指すレガシー		

<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ実施国に快適な練習環境を提供する。 ・大会後は、市民に快適なスポーツ環境を提供する。 	
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）	
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプを実施した各代表チームに対し、快適な練習環境を提供することができた。 ・各国（各競技）代表チームのキャンプを受け入れたことで、キャンプ受入れに必要な練習環境整備に係るノウハウが培われた。 	
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え	
<ul style="list-style-type: none"> ・JOC 認定競技別強化センターとして、府中朝日フットボールパークの施設の水準を維持 ・各代表チームのキャンプ受入れを想定した施設等環境整備の継続 ・府中朝日フットボールパークにおけるラグビー日本代表キャンプの継続的な受入れ ・卓球オーストリア代表チームが利用した卓球台等物品の市民利用による、更なるスポーツ気運の醸成 	
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業	
担 当 課	政策課、スポーツ振興課ほか

■ 市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との連携

事業No. 24 市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築		
事業概要		
<p>キャンプの受入れには、一定の基準を満たした練習施設や宿泊施設等が必要になることから、市内の関係団体を始め、市内を活動拠点としているトップチームや宿泊事業者との連携を図り、市全体が一体となってキャンプ実施国を受け入れ、おもてなしできるように、協力体制を構築する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の協議
平成29年度	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の協議 ■野球オーストラリア代表の事前キャンプ受入れ
平成30年度	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の協議
令和元年度	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築 ■キャンプの受入れ	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の協議・調整 ■フランス・イングランド・南アフリカの各代表のキャンプ受入れ ■野球オーストラリア代表の事前キャンプ受入れ
令和2年度	■市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築	■市内の関係団体、宿泊事業者等との事前キャンプ受入れに関する協議・調整
令和3年度	【東京2020オリンピック・パラリンピック】 ■キャンプの受入れ	■市内の関係団体、宿泊事業者等との事前キャンプ受入れに関する協議・調整 ■東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス及び府中市、調布市、三鷹市との連携協定締結

		<ul style="list-style-type: none"> ■卓球オーストリア代表の事前キャンプ受入れ ■7人制ラグビー日本代表キャンプの受入れ
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・トップチームや市内事業者との連携の強化につながる。 		
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ受入れにあたり、市内関係団体や宿泊事業者等との協力体制を構築することができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビー日本代表キャンプの受入れの継続 ・（今後キャンプを受入れる際）今回構築できた関係者との協力体制の活用 		
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業		
担 当 課	政策課ほか	

■ キャンプ地決定後の取組

事業No. 25 キャンプ実施国の理解を深める取組の実施や市民との交流機会の創出		
事業概要		
<p>本市がキャンプ地に決定した際には、キャンプ実施国の伝統行事に関する体験会など、市民がキャンプ実施国について理解を深める取組を実施する。</p> <p>また、キャンプ実施国の選手と市民が交流できる機会を創出するほか、本市の伝統文化や観光スポット等を紹介する。さらに、キャンプ受入れに必要なボランティアの育成を検討する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■キャンプ実施国の理解を深める取組の検討・実施	■キャンプ実施予定国の理解を深める取組の検討
平成29年度	■キャンプ実施国の理解を深める取組の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ■野球オーストラリア代表チームとの交流、公開練習 ■学校給食におけるオーストラリア料理の提供の実施
平成30年度	■キャンプ実施国の理解を深める取組の検討・実施、市民との交流会の検討	<ul style="list-style-type: none"> ■7人制ラグビー日本代表の公開練習 ■「イングランド&フランスラグビーフェスティバル in 府中」を開催 ■学校給食におけるオーストラリア料理・オーストラリア料理・フランス料理の提供
令和元年度	■キャンプ実施国の理解を深める取組の検討・実施、市民との交流会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ■7人制ラグビー日本代表との交流（クリニック・合同練習・学校訪問）、公開練習 ■ホストタウンリーフレットの作製 ■「府中市ホストタウンフェスティバル」の開催 ■車いすバスケットボールオーストラリア代表との交流、公開練習、大会観戦 ■在日オーストラリア大使館による小学校授業 ■野球オーストラリア代表との交流、公開練習試合

		<ul style="list-style-type: none"> ■府中ラグビーウィーク(フランス・イングランドウィーク)、パブリックビューイングの実施 ■公認チームキャンプの受入れに伴う市民交流イベントの実施 ■オーストラリアホストタウン展 in 183 FUCHU FAN ZONE の開催 ■オーストリアカフェ at オレンジブーツの開催
令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■キャンプ実施国の理解を深める取組の検討・実施、市民との交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■ホストタウン応援動画(卓球オーストリア代表、野球及び車いすバスケットボールオーストラリア代表応援動画)の制作 ■7人制ラグビー日本代表応援動画の制作 ■オーストラリアオリンピック委員会の主催により、南町小学校とオーストラリアの小学校とのオンライン交流 ■ホストタウン展 in 183 FUCHU FAN ZONE の開催
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■キャンプ実施国の理解を深める取組の検討・実施、市民との交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校給食におけるオーストリア料理の提供 ■オーストラリアオリンピック委員会の主催により、市内小学校とオーストラリアの小学校とのオンライン交流 ■大会チケットを活用し、キャンプ実施予定チーム等に向けた応援写真募集企画を実施 ■7人制ラグビー日本代表と市内児童・生徒とのオンライン交流会の実施 ■7人制ラグビー日本代表公開練習(荒天中断) ■ホストタウンレガシーイベントの開催

大会後に目指すレガシー

- ・市内小中学生を始めとした国際交流の機会の拡充につながる。
- ・キャンプ実施国との交流を継続する。

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・各国（各競技）代表チームのキャンプ受入れを通じ、市民と代表チーム選手との交流機会を設けることができた。
- ・市民とトップアスリートとの交流機会が創出された。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・オーストラリア・オーストラリアの文化を体験・体感できるイベント等の開催
- ・ラグビー日本代表のキャンプ受入れの継続及び市民との交流機会の創出

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

【ホストタウン理解・促進事業】

- ・ホストタウン相手国の文化理解促進・交流事業の実施

【ラグビーのまち府中推進事業】

- ・ラグビー日本代表の受入れの継続および市民との交流の機会の創出

担 当 課 政策課ほか



「イングランド＆フランス ラグビー
フェスティバル in 府中」



「府中市ホストタウンフェスティバル」

ボランティアの育成支援

オリンピック等の開催に当たり、大会全体で数万人規模のボランティアが必要とされることから、本市においても、東京都、各大会の組織委員会等と連携しながら、市民のボランティアに関する啓発講座等を開催するとともに、大会期間中に必要とされるボランティアの育成支援を行うなど、各種取組を実施します。

取組とレガシー

(1) 取組

ア 市民のボランティアへの参加の促進

▼ ボランティア活動の推進

イ 市民のボランティアに関する啓発講座等の開催

▼ ボランティアに関する講演会の開催

ウ 大会期間中に必要とされるボランティアの育成支援

▼ 大規模スポーツ大会をきっかけとしたボランティアの育成

▼ 外国人おもてなし語学ボランティアの育成

▼ 観光ボランティアの育成

▼ 大会期間中のおもてなし体制の構築

(2) 取組によるレガシー

◆ 市民がボランティアに対する知識を深め、ボランティアへの参加意識が向上します。

◆ ボランティアへの参加・理解により、市民協働への意識が向上します。

【参考】大会期間中に必要とされるボランティア

▼ 大会ボランティア（フィールドキャスト）

オリンピック等の大会運営に従事する。具体的には、観客サポート・メディアサポートなどの業務があり、その活動は、競技会場や選手村などの大会に関係する会場で行う。

▼ 都市ボランティア（シティキャスト）

国内外からの観光客に対して観光案内や交通案内を行う。その活動は、空港、駅、観光スポットなどで行う。

▼ 観光ボランティア

国内外からの観光客に対して市の観光スポットを案内・紹介する。

▼ イベントやキャンプ実施国等へのおもてなしに関わるボランティア

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックをきっかけに、大会後もレガシーとして残る、本市独自のボランティアの人材育成に向け、ボランティア登録制度「チーム fuchu ボランティアバンク」を設立。市民と選手との交流における運営や通訳等を行う。

■ 市民のボランティアへの参加の促進

事業No. 26 ボランティア活動の推進		
事業概要		
<p>市民のボランティア活動を推進するため、市が実施している事業のボランティアを募ります。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 多摩川清掃市民運動 ▼ 市民協働まつり運営ボランティア ▼ 放課後子ども見守りボランティア 		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■ボランティア活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■第43回多摩川清掃市民運動 ■市民協働まつり運営ボランティア ■放課後子ども見守りボランティア研修会
平成29年度	■ボランティア活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■第44回多摩川清掃市民運動 ■市民協働まつり運営ボランティア ■放課後子ども見守りボランティア研修会
平成30年度	■ボランティア活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■第45回多摩川清掃市民運動 ■市民協働まつり運営ボランティア ■放課後子ども見守りボランティア研修会
令和元年度	■ボランティア活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■第46回多摩川清掃市民運動 ■市民協働まつり運営ボランティア ■放課後子ども見守りボランティア研修会
令和2年度	■ボランティア活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■市民協働まつり運営ボランティア ■放課後子ども見守りボランティアの活動紹介
令和3年度	■ボランティア活動及び研修会の実施	■市民協働まつり運営ボランティア

	■放課後子ども見守りボランティアの活動紹介
大会後に目指すレガシー	
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・ボランティアに対する意識が向上する。 	
東京2020大会を契機とした効果（成果）	
<ul style="list-style-type: none"> ・多くのボランティアが活躍したオリンピック等の開催により、市民がボランティア活動への興味・関心を持つ契機となった。 ・東京2020大会を契機に設立された「チーム fuchu ボランティアバンク」の登録者が市民協働まつりの運営ボランティアに参加し、スポーツに限らないボランティア経験及び多様な市民活動を知る機会となった。 	
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民のボランティア活動への興味・関心の向上 ・各種事業を通じた市民のボランティアへの理解や市民協働意識の向上 ・市民のさらなる参加意欲促進のため、各種事業のPRの実施およびボランティア活動の継続 	
令和4年度の新規・レベルアップ事業	
担 当 課	環境政策課、協働推進課、児童青少年課ほか



第46回多摩川清掃市民運動

■ 市民のボランティアに関する啓発講座等の開催

事業No. 27 ボランティアに関する講演会の開催		
事業概要		
オリンピック等の開催に当たっては、大会の運営等に携わる大会ボランティア及び交通の整備等に携わる都市ボランティアが必要となることから、これらのボランティア経験者等を招き、講演会を開催する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■事業内容の検討	■事業内容の検討
平成29年度	■講演会の開催	■おもてなしフォーラム2017 in FUCHU の開催
平成30年度	■講演会の開催	■チーム fuchu ボランティア「ボランティア育成講座」開催
令和元年度	■ラグビーワールドカップ2019における市民のボランティアへの参加	■チーム fuchu ボランティア活動説明会の開催 ■ラグビーワールドカップ2019における市民のボランティアへの参加
令和2年度	■東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた市民のボランティアへの参加	■次年度に向けた取組の検討
令和3年度	■東京2020オリンピック・パラリンピックにおける市民のボランティアへの参加	■チーム fuchu ボランティア「ボランティア育成講座」開催 ■東京2020オリンピック・パラリンピックにおける市民のボランティアへの参加 ■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたボランティア活動の一部が中止
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・大会後も市の取組等に多くのボランティアが参加する。 ・ボランティアに対する市民意識が向上する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・RWC2019 と東京2020大会ボランティア講座に多くの市民が参加し、ボランティアに対する市民意識が向上した。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		

<ul style="list-style-type: none"> ・チーム fuchu ボランティア育成講座の継続実施 ・ボランティアの大会中や大会に向けての期間に得た経験の活用 ・ボランティアの中心として活躍する場の提供 	
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業	
【チーム fuchu ボランティアバンク運営・ボランティア育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア育成講座の開催 	
担 当 課	協働推進課、政策課ほか



おもてなしフォーラム2017 in FUCHU

■ 大会期間中に必要とされるボランティアの育成支援

事業No. 28	大規模スポーツ大会をきっかけとしたボランティアの育成	
事業概要		
オリンピック等を含む大規模スポーツ大会の実施時には、スポーツの運営補助としてのボランティアが多数必要となる場合が多いことから、大規模スポーツ大会をきっかけとして、ボランティアの育成を図る。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■ボランティアの育成	■コミスポボランティアの募集及びイベント等での活動の場の提供、研修会の実施等による育成支援
平成29年度	■ボランティアの育成	■コミスポボランティアの募集及びイベント等での活動の場の提供、研修会の実施等による育成支援
平成30年度	■ボランティアの育成	■コミスポボランティアの募集及びイベント等での活動の場の提供、研修会の実施等による育成支援
令和元年度	■ボランティアの育成	■コミスポボランティアの募集及びイベント等での活動の場の提供、研修会の実施等による育成支援
令和2年度	■ボランティアの育成	■コミスポボランティアの募集
令和3年度	■ボランティアの育成	■スポーツ振興課でのスポーツ大会等のイベントについては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ■東京2020オリンピック自転車競技ロードレースにおいて、ボランティア(ロードレースコースサポーター)の募集
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた社会貢献(学び返し)の意識が定着する。 ・市民の協働意識が向上する。 		
東京2020大会を契機とした効果(成果)		

- ・大規模スポーツ大会等のイベントを通して、ボランティアを募集し活躍していただくことで、ボランティアの育成を図った。
- ・イベントでのボランティア活動を通して、市民の社会貢献の意識向上を図った。
- ・ボランティアを通じ、市民の協働意識が向上した。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・ボランティアの育成およびイベント等における活動の場の提供

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課

スポーツ振興課、政策課

事業No. 29 外国人おもてなし語学ボランティアの育成		
事業概要		
日本を訪れる外国人が安心して滞在できる環境を整えるため、東京都と連携し、街中で外国人に積極的に声を掛け、簡単な外国語で道案内等の手助けをする語学ボランティアを育成します。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■事業の実施	■外国人おもてなし語学ボランティア育成講座（4コース）開催
平成29年度	■事業の実施	■外国人おもてなし語学ボランティア育成講座（4コース）開催
平成30年度	■事業の実施	■外国人おもてなし語学ボランティア育成講座（4コース）開催
令和元年度	■事業の実施	■外国人おもてなし語学ボランティア育成講座（1コース）開催
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・大会後も市の取組等へ、多くのボランティアが参画する。 ・ボランティアに対する市民意識が向上する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
・講座を受講することにより、外国人旅行者に積極的に声をかけ自分ができる手助けをするなど、おもてなし意識の醸成につながった。		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	協働推進課、観光プロモーション課、政策課	

事業No. 30 観光ボランティアの育成		
事業概要		
府中市観光ボランティアの会が主体となって実施している、観光ガイドツアーについて、現在は日本人のみを対象としているが、これを外国人観光客に対応したガイドツアーも実施できるように、観光ボランティアの育成を実施する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■外国人向けのモニターツアーボランティアの研修会の実施	■外国人向けのモニターツアーボランティアの研修会実施
平成29年度	■外国人向けのモニターツアーの実施 ■モニターツアーの結果等の検証 ■翌年度の事業の検討	■国分寺・府中観光振興連絡協議会が実施するモニターツアー(参加者に外国人含む)に府中市観光ボランティアの会が随行 ■外国人の視点からの観光ルートに関する意見・アンケートを共有
平成30年度	■外国人向けの観光ガイドツアーの実施	■府中市観光ボランティアの会が、以下2事業に協力 ■オーストラリアとのホストタウン交流事業 ■在住外国人向けフィールドワーク
令和元年度	■外国人向けの観光ガイドツアーの実施	■海外インフルエンサーを招致した市内ツアーや武蔵の國の酒祭りで同時開催した大國魂神社ツアーで、府中市観光ボランティアの会が外国人向けツアーに協力
令和2年度	■外国人向けの観光ガイドツアーの実施	■外国人観光客向けの市内観光コース開発を、府中市観光ボランティアの会と協力して実施
令和3年度	■外国人向けの観光ガイドツアーの実施	■実施事業なし
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けのガイドツアーの開催により、外国人観光客の増加につながる。 ・観光ボランティアの外国人対応力の向上につながる。 		
東京2020大会を契機とした効果(成果)		

- ・外国人観光客向けに市内観光コース開発を行った。
- ・外国人向けコンテンツの実施を通じて、観光ボランティアの外国人対応力が向上した。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・観光ボランティアによる外国人向けガイドツアーの継続的な協力の実施

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課 観光プロモーション課及び協働推進課

事業No. 31	大会期間中のおもてなし体制の構築	
事業概要		
<p>オリンピック等の大会期間中には、大会ボランティアや都市ボランティアだけでなく、市独自でキャンプ実施国や国内外の観光客の受入れに向けたボランティアが必要になることから、おもてなし体制の構築に向けた検討を行う。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■実施内容の検討	■実施内容の検討
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■実施内容の検討 ■検討結果に基づく取組の実施 	■実施内容の検討
平成30年度	■検討結果に基づく取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■本市独自のボランティア組織「チーム fuchu ボランティアバンク」を設立。育成講座を開催すると共に、活躍の場を提供。
令和元年度	<p>【ラグビーワールドカップ2019】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■キャンプ実施国や国内外の観光客に対するおもてなしの実施 	<p>【ラグビーワールドカップ2019】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■チーム fuchu ボランティアによるおもてなしの実施 ■本市を来訪した外国人観光客に道案内等ができるよう、7か国語（英・中（繁・簡）・韓・独・仏・西・泰）に対応した「指さし会話帳」を作成し、市民に配布。また、中学生にも利用できるよう、学校を通して配布を実施 ■府中駅出入口付近に、英語対応もできる観光案内ブースを設置。また、東京スタジアムでの試合開催日には、多磨駅に英語対応もできる観光案内ブースを設置したほか、トリックアートを活用した観光PRフォトスポットを設置 ■ラグビーワールドカップのチケットホルダーを対象に、市制施行65周年記念乗車券を配布したほか、おもてなしバスツアーを実施

		<ul style="list-style-type: none"> ■「FUCHU RUGBY WEEK」、多磨駅における市内中学生によるおもてなしの実施 ■野球及び車いすバスケットボールオーストラリア代表のキャンプ中におもてなしの実施
令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ラグビーワールドカップ2019での取組をふまえた、さらなるおもてなしの取組の検討と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■チーム fuchu ボランティアによるおもてなしの取組の検討と実施
令和 3 年度	<p>【東京2020オリンピック・パラリンピック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■キャンプ実施国や国内外の観光客に対するおもてなしの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■チーム fuchu ボランティアによるおもてなしの取組の検討と実施 ■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた取組の一部中止
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・大会後も市の取組等へ、多くのボランティアが参画する。 ・ボランティアに対する市民意識が向上する。 		
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・RWC2019 と東京 2020 大会という世界的なビックイベントを契機に市民の多くがボランティアに参加し、ボランティアに対する市民意識が向上した。 ・国内外の観光客の受け入れ態勢を充実させるため、市民ボランティアと協働した観光案内ブースを運営した。本取組は今後のおもてなし体制の構築に向けたレガシーとなりうる取組である。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・チーム fuchu ボランティアバンクを設立し、市民のボランティアを育成支援した。 ・RWC2019 と東京 2020 大会という世界的なビックイベントを契機に市民の多くがボランティアに参加し、ボランティアに対する市民意識が向上した。 ・国内外の観光客の受け入れ態勢を充実させるため、市民ボランティアと協働した観光案内ブースを運営した。本取組は今後のおもてなし体制の構築に向けたレガシーとなりうる取組である。 		
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業		
<p>【チーム fuchu ボランティアバンク運営・ボランティア育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム fuchu ボランティアバンクの運営 		
担 当 課	協働推進課、観光プロモーション課、政策課ほか	



大会をきっかけにした本市独自のボランティア組織
「チーム fuchu ボランティアバンク」

スポーツ・文化の発展

オリンピック等の開催は、スポーツに対する関心の向上、健康への意識の醸成、障害者スポーツを通じた障害者への理解の深化など、スポーツタウン府中の発展に向けて多大な影響をもたらします。さらに、市の文化を市内外に向けて発信する絶好の機会であることから、更なる文化の振興を図るため、本市における文化プログラムの発信や美術館による東京2020オリンピック・パラリンピック関連企画等の取組を実施します。

取組とレガシー

(1) 取組

ア スポーツを「する」・「観る」・「支える」・「育てる」環境の充実

(ア) 「する」環境の充実

- ▼ 各種スポーツイベント・大会の実施と参加へのきっかけづくり
- ▼ オリンピアン・パラリンピアンを招いた競技体験等の実施【再掲】
- ▼ 障害者軽スポーツ大会の実施

(イ) 「観る」環境の充実

- ▼ トップスポーツを中心とした観戦・応援機会の拡大と環境づくり
- ▼ オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施【再掲】
- ▼ 近隣自治体と連携した取組の実施【再掲】
- ▼ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施【再掲】

(ウ) 「支える」環境の充実

- ▼ 地域スポーツ振興のためのスポーツ指導者の派遣
- ▼ ジュニアスポーツ活動及び全国大会等出場者への支援

(エ) 「育てる」環境の充実

- ▼ 「コミスポ協力者」の育成
- ▼ 大規模スポーツ大会をきっかけとしたボランティアの育成【再掲】

イ 障害者スポーツの振興

- ▼ 誰もが参加できるスポーツなどの普及・啓発
- ▼ 生涯学習センターでのパラリンピック競技の体験講座などの実施

ウ 府中市における文化プログラムの発信

- ▼ 府中市における多様な文化プログラムの発信
- ▼ 平和の祭典から「平和」を考えるウィークの開催
- ▼ 市史編さん刊行物の制作・配布・頒布
- ▼ 「東山道武蔵路と古代国府・国分寺（仮称）」の普及・啓発事業
- ▼ 美術館による東京オリンピック・パラリンピック関連企画の実施

(2) 取組によるレガシー

- ◆ 地域に根ざしたスポーツタウン府中の発展につなげます。
- ◆ パラリンピック競技の普及を図りながら、共生社会を実現します。
- ◆ 「心のバリアフリー」を推進します。
- ◆ スポーツや文化を通じた、本市への愛着や誇りを醸成します。
- ◆ スポーツへの高い関心をきっかけとした、市民の健康増進や地域コミュニティへの関心を喚起します。

■ スポーツを「する」・「観る」・「支える」・「育てる」環境の充実

(ア) 「する」環境の充実

事業No. 32		各種スポーツイベント・大会の実施と参加へのきっかけづくり
事業概要		
市内の各スポーツ連盟・協会等の協力により、ジュニアからシニアにわたる幅広い年代を対象としたスポーツ大会を開催する。また、郷土の森総合体育館・地域体育館での各種教室の開催や文化センター圏域を活用した各種スポーツイベント等の開催を通じて、スポーツに参加できる機会を提供する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 ■文化センターでのスポーツイベントの実施 	■体育館での各種教室の実施
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民大会等スポーツ大会の開催 ■体育館での各種教室の実施 	■市民体育大会等スポーツ大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業中止。

	■文化センターでのスポーツイベントの実施	■体育館での各種教室の実施
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の競技力が向上する。 ・市民の運動（スポーツ）への関心が高まる。 ・地域コミュニティの連帯感が高まる。 		
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育大会等スポーツ大会は、オリンピック種目も含め、日頃の成果を発揮する場として市民の競技力向上に寄与することができた。 ・体育館での各種教室は、単発ではなく、数回続ける教室を実施することで地域コミュニティの連帯感を高めることに寄与した。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育大会等スポーツ大会の継続的な実施 ・体育館での各種教室の継続的な実施 		
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業		
担 当 課	スポーツ振興課及び地域コミュニティ課	



ボールふれあいフェスタ

事業No. 3 オリンピアン・パラリンピアンを招いた競技体験等の実施【再掲】

事業No. 33 障害者軽スポーツ大会の実施		
事業概要		
<p>障害者と市民等の親睦やふれあいを深めるため「障害者軽スポーツ大会」を開催する。また、大会内において、パラリンピック競技体験を実施し、市民のオリンピック・パラリンピックへの参加意識を拡大させる。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	—	—
平成30年度	■ボッチャ体験の実施	■ボッチャ体験の実施
令和元年度	■ボッチャ体験の実施	■ボッチャ体験の実施
令和2年度	■次年度に向けた取組の検討	■次年度に向けた取組の検討
令和3年度	■パラリンピアンとの交流、パラリンピック競技体験の実施	■次年度に向けた取組の検討
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに向けた市民の気運の高まりと参加意識を拡大させる。 ・障害者軽スポーツ大会を通じて、障害者に対する理解を深める。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック種目でもあるボッチャの体験会を同大会で実施することにより、市民の気運醸成および参加者同士の相互理解を促進することができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ体験会の継続実施 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	障害者福祉課	

(イ) 「観る」環境の充実

事業No. 34	トップスポーツを中心とした観戦・応援の機会の拡大と環境づくり	
事業概要		
<p>トップチームの協力により、市民の観戦・応援の機会の提供を図る。また、観戦者の増加を含めた施設環境の整備を図る。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民デーの開催 ■施設環境の整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■AJINOMOTO Day 及び府中ダービー開催に合わせた市民デーの開催 ■総合体育館障がい者用トイレのバリアフリー化
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民デーの開催 ■施設環境の整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■AJINOMOTO Day 及び府中ダービー開催に合わせた市民デーの開催
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民デーの開催 ■施設環境の整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■AJINOMOTO Day 及び市内また近隣スポーツ施設での試合に合わせた市民デーの開催等市民の観戦・応援機会の提供
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民デーの開催 ■施設環境の整備の検討及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■近隣スポーツ施設での試合に合わせた市民デーの開催等市民の観戦・応援機会の提供
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民デーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市民デーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■FC 東京との「FC 東京応援デー」及び「府中の日」における市民のホームゲーム無料招待を実施
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民のスポーツへの関心が高まる。 ・トップチームの認知度が向上する。 ・観戦しやすい良好な環境が確保される。 		
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・オリパラを契機として、スポーツの価値が提唱され市民のスポーツへの関心が高まっている中で、トップチームの認知度が向上した。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・FC 東京をはじめとする市内のトップチームとの連携の強化 ・それによる市民への認知度の拡大およびスポーツの関心の向上への寄与 		

令和4年度の新規・レベルアップ事業

【トップチーム関連パブリックビューイング】

- ・ けやき並木等を活用したトップチーム関連のパブリックビューイングの実施

【トップチーム等関連事業費】

- ・ トップチームと連携したイベントの実施等

【中心地にぎわい創出事業】

- ・ トップスポーツ観戦時のにぎわい創出

担 当 課

スポーツ振興課



府中アスレティックFC

事業No. 4

オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施【再掲】

事業No. 15

近隣自治体と連携した取組の実施【再掲】



府中調布三鷹ラグビーフェスティバル2020

事業No. 21

東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施【再掲】

(ウ) 「支える」環境の充実

事業No. 35 地域スポーツ振興のためのスポーツ指導者の派遣		
事業概要		
東京2020オリンピック・パラリンピックをきっかけに、日頃の日常生活において、気軽に運動（スポーツ）をしたいが、指導者のいない団体に対し、スポーツ指導者を派遣することで、市民のスポーツ活動の機会と「コミスポ協力者」の活動の拡大を図る。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■スポーツ指導者の派遣	■スポーツ指導に向けた、コミスポ協力者の派遣
平成29年度	■スポーツ指導者の派遣	■スポーツ指導に向けた、コミスポ協力者の派遣
平成30年度	■スポーツ指導者の派遣	■スポーツ指導に向けた、コミスポ協力者の派遣
令和元年度	■スポーツ指導者の派遣	■スポーツ指導に向けた、コミスポ協力者の派遣
令和2年度	■スポーツ指導者の派遣	■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
令和3年度	■スポーツ指導者の派遣	■スポーツ指導に向けた、コミスポ協力者の派遣
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康志向の高まりと健康の維持・増進をもたらす。 ・市民の運動（スポーツ）の機会の定着化が図られる。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民へのスポーツ機会の定着を図った。 ・市民の健康志向の高まりや、維持・増進を図った。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・派遣事業の実施の継続によるスポーツ機会の提供 ・健康の維持・増進 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	スポーツ振興課	

事業No. 36 ジュニアスポーツ活動及び全国大会等出場者への支援		
事業概要		
<p>市内で活動しているスポーツ団体や全国大会に出場する選手に対して、育成支援を行う。本事業は、これまでも実施している事業であるが、オリンピック等の開催を契機とし、更に推進するものである。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■補助金の交付による支援の実施	■ジュニアスポーツ団体や全国大会等に出場する選手に対する補助金交付支援
平成29年度	■補助金の交付による支援の実施	■ジュニアスポーツ団体や全国大会等に出場する選手に対する補助金交付支援
平成30年度	■補助金の交付による支援の実施	■ジュニアスポーツ団体や全国大会等に出場する選手に対する補助金交付支援
令和元年度	■補助金の交付による支援の実施	■ジュニアスポーツ団体や全国大会等に出場する選手に対する補助金交付支援
令和2年度	■補助金の交付による支援の実施	■ジュニアスポーツ団体に対する補助金交付支援
令和3年度	■補助金の交付による支援の実施	■ジュニアスポーツ団体や全国大会等に出場する選手に対する補助金交付支援
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内スポーツ団体の活性化につながる。 ・トップアスリートの育成につながり、スポーツタウン府中の発展に寄与する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<p>・ジュニアスポーツ団体やジュニアのトップアスリートの経費の負担を軽減することにより、競技環境を整備し競技力の向上を図り、スポーツタウン府中の発展に寄与することができた。</p>		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・支援の継続の実施 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	スポーツ振興課	

(工) 「育てる」環境の充実

事業No. 37 「コムスポ協力者」の育成		
事業概要		
<p>オリンピック等を含む大規模スポーツ大会をきっかけとして、地域社会に貢献する意思のある市民の方に登録してもらい、市民の健康の維持・増進及び地域コミュニティの活性化を目的としたレクリエーション活動等への協力を得る「コムスポ協力者」の制度を推進する。また、スポーツ指導者の様々な派遣依頼に備え、「コムスポ協力者」の資質の向上を図る。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資質向上のための研修会の開催 ■ 登録制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録制度の周知と、登録者の資質向上に向けた研修会開催
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資質向上のための研修会の開催 ■ 登録制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録制度の周知と、登録者の資質向上に向けた研修会開催
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資質向上のための研修会の開催 ■ 登録制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録制度の周知と、登録者の資質向上に向けた研修会開催
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資質向上のための研修会の開催 ■ 登録制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録制度の周知と、登録者の資質向上に向けた研修会開催
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資質向上のための研修会の開催 ■ 登録制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録制度の周知
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資質向上のための研修会の開催 ■ 登録制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録制度の周知
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを通じた社会貢献（学び返し）の意識が定着する。 ・ 「コムスポ協力者」の資質が向上する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ パラリンピック開催による障害者スポーツへの関心が高まるなか、障害者スポーツの審判講習会等を実施したことにより、障害者スポーツへの知識や審判の技術を獲得し、コムスポ協力者の資質が向上した。 ・ 得られた知識や技術を、イベント等で発揮することにより、障害者スポーツをささえる担い手を育成することができた。 		

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・「コミスポ協力者」の育成の継続実施

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課

スポーツ振興課

事業No. 28 大規模スポーツ大会をきっかけとしたボランティアの育成【再掲】

■ 障害者スポーツの振興

事業No. 38 誰もが参加できるスポーツなどの普及・啓発		
事業概要		
パラリンピック競技を始めとする障害者スポーツなど、誰もが参加可能なスポーツ体験型イベント・体験教室を開催する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■事業内容の検討	■事業内容の検討
平成29年度	■障害者スポーツ用具の購入 ■障害者スポーツ体験型イベント・出前講座の開催 ■障害者スポーツ実施状況調査	■障害者スポーツ用具の購入 ■障害者スポーツ体験会・出前講座の開催 ■障害者スポーツ実施状況調査
平成30年度	■障害者スポーツ体験型イベント・出前講座の開催 ■定期的に障害者スポーツに親しめる機会を提供	■既存イベント内で障がい者スポーツに親しむ機会の提供 ■障がい者向けボッチャ大会の実施 ■出前講座の開催
令和元年度	■障害者スポーツ体験型イベントの開催 ■定期的に障害者スポーツに親しめる機会を提供	■既存イベント内で障がい者スポーツに親しむ機会の提供 ■障がい者向けボッチャ大会の実施 ■出前講座の開催
令和2年度	■障害者スポーツ体験型イベントの開催 ■定期的に障害者スポーツに親しめる機会を提供	■出前講座の開催
令和3年度	■障害者スポーツ体験型イベントの開催 ■定期的に障害者スポーツに親しめる機会を提供	■出前講座の開催 ■ボッチャ体験イベントの実施
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・市民誰もがスポーツ活動に親しめる場や機会を提供する。 ・市民の障害者スポーツに関する認知度が向上する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ、主にボッチャを中心に普及を進め、体験イベント等を実施することで、障害者スポーツを通して、市民誰もが親しめる場や機会を提供した。 ・障害者スポーツの認知度向上を図った。 		

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・ 障害者スポーツ体験イベントの実施の継続
- ・ 障害者スポーツの認知拡大に努め、誰もが楽しめるスポーツの場や機会の提供

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課

スポーツ振興課ほか

事業No. 39 生涯学習センターでのパラリンピック競技の体験講座などの実施		
事業概要		
指定管理者と協力しながら、生涯学習センター内でパラリンピック競技の体験講座を実施する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■体験講座の実施	■来年度実施を検討している市民向け体験会に向けた、スポーツ推進委員向け障害者体験及びパラリンピック競技の研修会開催
平成29年度	■体験講座の実施	■障がい者成人教室「あすなろ学級」の活動におけるボッチャ体験の採用 ■パラリンピック競技の市民向け体験会の実施
平成30年度	■体験講座の実施	■障がい者成人教室「あすなろ学級」の活動におけるボッチャ体験の実施 ■パラリンピック競技の市民向け体験会の実施
令和元年度	■体験講座の実施	■障がい者成人教室「あすなろ学級」の活動におけるボッチャ体験の実施 ■パラリンピック競技の市民向け体験会の実施
令和2年度	■体験講座の実施	■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止
令和3年度	■体験講座の実施	■生涯学習センターにおいてオリンピック・パラリンピック関連講座を2講座予定していたが、いずれも新型コロナウイルスの影響により中止
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020パラリンピックの開催に向けた気運を醸成する。 ・市民の障害者スポーツに関する認知度が向上する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック競技の体験会を実施したことにより、障害者スポーツに関する認知度が向上した。 ・市民の障害者スポーツに関する認知度向上に寄与した。 		

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・パラリンピック競技に対する市民の関心の向上および競技体験の要望の増加
- ・障がい者成人教室「あすなろ学級」におけるパラリンピック競技活動の継続的な取組
- ・東京大会で培った「世界と繋がる」ことの講座への反映（語学や異文化など講座への活用等）
- ・その他体験講座を適宜実施
- ・障害者スポーツに関する認知度向上への寄与

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課

文化生涯学習課及びスポーツ振興課

■ 府中市における文化プログラムの発信

事業No. 40 府中市における多様な文化プログラムの発信		
事業概要		
<p>本市の歴史や文化を国内外に広く周知するため、市内の関連団体や大学等と連携し、府中市版の文化プログラムを発信する。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 市民芸術文化祭 ▼ 青少年音楽祭 ▼ 民俗芸能伝承普及事業 ▼ 市民文化の日 ▼ 公益財団法人文化振興財団との連携事業 ▼ 府中市のスポーツ史の紹介 		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■事業内容の検討	■事業内容及びPR方法の検討
平成29年度	■事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■府中市青少年音楽祭のプログラム、吊り看板、チラシ及びポスターへの認証マーク掲載 ■市民芸術文化祭PRパンフレットへの認証マーク掲載 ■府中囃子のCD作成及び販売
平成30年度	■事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■武蔵国府太鼓の演奏 DVD 作成及び販売 ■青少年音楽祭における東京2020公認マークの掲載等 ■市民芸術文化祭におけるオリンピックファンファーレの吹奏・東京五輪音頭 - 2020 - の発表等
令和元年度	■事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■青少年音楽祭における東京2020公認マークの掲載等 ■市民芸術文化祭におけるオリンピック・パラリンピック開催を祝した「祝典行進曲」の演奏・東京五輪音頭 - 2020 - の発表等
令和2年度	■事業の実施	■市民文化の日における Tokyo Tokyo FESTIVAL 公認マークの掲載

令和 3 年度	■事業の実施	■卓球オーストリア代表事前キャンプ受け入れ時、選手を書道やいけばな、折り紙等日本の伝統文化でおもてなし
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の歴史や文化を効果的にPRできる。 ・歴史や文化を通じた本市への愛着・誇りを醸成する。 ・文化及び芸術の振興を図り、次世代の後継者の養成につながる。 		
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・PRパンフレットによる認証マークの掲載や、オリンピックに関連した展示や曲目の演奏を行うことにより、大会の気運醸成が図られた。 ・スポーツには関心があるが文化・芸術には関心が低かった層にも興味を持ってもらう機会が得られた。 ・オーストリアの卓球選手へのおもてなしをすることで、日本の伝統文化を世界とつなげることができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<p>大会に参加したオーストリアの選手に日本の伝統文化でのおもてなしをしたことは、日本の芸術文化が世界の人とつながる貴重な経験となった。これをレガシーとしてこれからの文化、芸術の振興及び、次世代の後継者の育成に活かし、つなげていく。</p>		
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業		
担 当 課	文化生涯学習課、ふるさと文化財課ほか	

事業No. 41 平和の祭典から「平和」を考えるウィークの開催		
事業概要		
<p>例年実施している平和のつどい・平和展・夏休み平和子ども教室の3事業について、平和の祭典である「オリンピック・パラリンピック」をテーマとして、同一時期・同一会場で、子どもから大人まで参加できる事業を市民と協働で展開し、平和意識の啓発とあわせて東京2020大会の気運醸成を図る。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	—	—
平成30年度	—	—
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピックまたはパラリンピ アンの講演 ■「オリンピック・パラリンピッ ク」と平和に関連した映像上映や パネル展示 ■平和に関する図書館のお話会 ■生涯学習サポーターを講師とし た子どもたちのアート作品製作及 び平和展での展示 	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピックによる講演 ■「オリンピック・パラリンピッ ク」と平和に関連した映像上映や パネル展示 ■図書館おはなしボランティア による平和に関するお話会 ■生涯学習サポーターを講師とし た子どもたちのアート作品製 作及び平和展での展示
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピックによる講演 ■「オリンピック・パラリンピッ ク」と平和に関連したパネル展示 等 ■平和に関する図書館のお話会 ■生涯学習サポーターを講師とし た子どもたちのアート作品製作及 び平和展での展示 	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピックによる講演の市 ホームページ上での配信 ■オリンピック・パラリンピック と平和に関連したパネル展示 ※新型コロナウイルスの影響に より、「平和の祭典から『平和』 を考えるウィーク」としての形で はなく、日程及び内容を変更して 各事業を実施。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピックによる講演 ■「オリンピック・パラリンピッ ク」と平和に関連したパネル展示 等 ■平和に関するお話会 ■生涯学習サポーターを講師とし た子どもたちのアート作品製作及 び平和展での展示 	<ul style="list-style-type: none"> ■オリンピックによる講演及び 市ホームページ上で配信 ■おはなしボランティアによる平 和とオリンピック・パラリンピッ クを題材とした絵本の読み聞か せ ■生涯学習サポーターを講師とし た子どもたちのアート作品製 作

大会後に目指すレガシー

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの気運の醸成を図るとともに、市民の平和意識のさらなる啓発につながり、両事業を次世代へと継承していくことが期待できる。
- ・一連の平和啓発事業を同一時期・同一会場で実施し、聴く・観る・体験することにより、市民の事業への関心が高まり、参加者の増加が期待できる。
- ・各事業を市民協働により実施することができる。

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・東京 2020 大会の気運醸成を含めた平和啓発事業として展開することで、「スポーツの祭典から平和を考える」という新たな視点から、平和を考える機会を創出することができた。
- ・新たな切り口からの平和啓発事業について、市民と協働展開することができ、今後につながる成果を得ることができた。
- ・子どもから大人まで参加できる平和啓発事業として、同一時期同一会場で実施することで、より参加しやすい事業として開催することができた。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

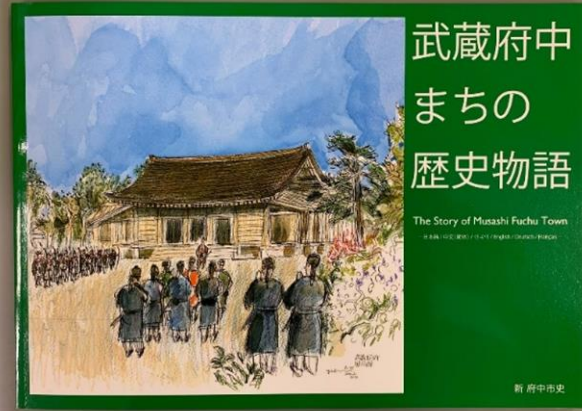
- ・大会で培った「新たな視点から平和を考える」ことを市民が様々な視点から平和を考えることができる機会となるよう、平和啓発事業に活かしていく。
- ・平和のつどい・平和展・夏休み子ども教室の3事業を継続して同一時期・同一会場で実施する。

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課	文化生涯学習課
-------	---------

事業No. 42 市史編さん刊行物の作成・配布・頒布		
事業概要		
<p>市史編さん事業の一環として、ビジュアル版の市史別冊（府中のまちの歴史の解説本）を作成する。作成に当たっては、日本語解説に外国語（英語、中国語、ハングル、ドイツ語、フランス語）の翻訳文付きで制作し、外国人に向けても市の魅力を発信するものとする。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 市史編さん事業の各専門部会による資料の収集・調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集・調査、参考文献の収集、製作計画の検討
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 市史編さん事業の各専門部会による資料の収集・調査の実施 市史ガイドブック(パンフレット)の作成準備への着手 市内大学等との連携協力体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ビジュアル版市史について掲載内容を検討し、平成30年度のレベルアップ事業として提案、承認
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ビジュアル版市史のイラスト・原稿及び外国語翻訳文の作成・編集 	<ul style="list-style-type: none"> ビジュアル版市史に掲載するイラスト・地図の制作と写真収集 ビジュアル版市史に掲載する解説原稿の作成と外国語翻訳の着手 令和元年度のレベルアップ事業に同書の編集発行を提案、承認
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ビジュアル版市史の印刷・刊行・頒布、ラグビーワールドカップ2019に合わせた発行を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 市内在住作家によるイラスト画、市内大学他の協力による翻訳原稿を編集 9月に日・英・中・韓・独・仏の6か国語表記の市史刊行物「武蔵府中まちの歴史物語」の発行 市主催のフランスウィーク、イングランドウィークで頒布を開始 市の国際交流事業で活用(ラグビーのフランス選手団、ウィーン市ヘルナルス区友好訪問団など) 市内小中学校、図書館等関係機関に配布 ちゅうバス車内広告等でPR

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市史編さん刊行物の作成・配布・頒布の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■市史刊行物（資料編・報告書・付属刊行物）の編集発行 ■学校や図書館を中心とした市内外への配布
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■市史刊行物の編集発行と周知普及 ■オリンピック等の関係イベントにおける、外国語対応の刊行物を中心とした特別頒布の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■市史刊行物（資料編・報告書・付属刊行物）の編集発行 ■学校や図書館を中心とした市内外への配布 ■市民文化の日における特別頒布の実施
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の歴史的魅力や価値を広く国内外に発信できる。 ・市内大学等との連携により、市民協働を推進する。 ・大会後に刊行される市史刊行物の事前周知を行うことができる。 		
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん事業では学術的な資料調査に取り組み、その成果を市史刊行物として計画的に編集発行してきた。 ・ラグビーワールドカップと東京 2020 大会の開催をきっかけとして特別編集した『武蔵府中まちの歴史物語』は、自治体史では全国的にも珍しい6か国語によるビジュアル版の市史ガイドブックで、日本語の解説文全文を英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語を母語とする訳者が翻訳しており、国際的な大会のレガシーになる刊行物とすることができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度の市制施行 70 周年に向けた市史編さん事業の継続的な取組（各時代、分野ごとの市史通史編の編集発行） ・文化、教育、観光などの分野での活用 		
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業		
担 当 課	ふるさと文化財課	



「武蔵府中まちの歴史物語」

事業No. 43 「東山道武蔵路と古代国府・国分寺（仮称）」の普及・啓発		
事業概要		
<p>国分寺市等との連携事業である「東山道武蔵路と古代国府・国分寺（仮称）」の日本遺産の認定を目指し、東山道武蔵路及び古代国府・国分寺の歴史と魅力に触れてもらう事業（サミット及び関連イベントの開催、PR映像、パンフレットの作成、アプリの拡充等）を実施する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■日本遺産の認定に向けた取組（関係自治体との調整及び申請）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■国分寺・府中観光振興連絡協議会における国分寺市との調整 ■日本遺産の認定に向けた取組（関係自治体との調整及び申請）の実施
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■日本遺産の認定に向けた取組（関係自治体との調整及び申請）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度の日本遺産認定への再申請に向けた取組（国分寺・府中観光振興連絡協議会で申請内容の見直しをするための準備）の実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■日本遺産の認定に向けた取組（関係自治体との調整及び申請）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■観光アプリ「ぶらり国・府」をバージョンアップし、3DAR等の新機能を搭載したほか、アプリを活用したイベントを実施
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■日本遺産の認定 	<ul style="list-style-type: none"> ■日本遺産の認定に向けた取組の実施 ■国分寺市と連携し両市の観光スポットをめぐるトートバックスタンプラリーを実施 ■両市の史跡・観光スポットをPRするとともに、両市民の交流人口を増加させることを目的としたLINEスタンプを制作
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■国分寺市との連携による普及啓発事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■国分寺市と連携し両市の観光スポットをめぐるモバイルスタンプラリーを実施したほか、「開運」「おさんぽ」「探検」などテーマに分けた観光冊子を発行 ■昨年度制作したLINEスタンプのキャラクター名を両市民から募集

令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■国分寺市との連携による普及啓発事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■令和 2 年度に作成したテーマ別観光冊子（全 3 種）を増刷し、継続して配布を行った ■観光アプリ「ぶらり国・府」を用いたモバイルポイントラリーを実施 ■東京観光情報センター多摩 PR スペースへのブース出展 ■国分寺・府中の歴史・観光おもてなしに関する講演会の実施（令和 4 年 3 月実施予定）
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化を通じた本市への愛着・誇りを醸成する。 ・にぎわいのあるまちを創出する。 		
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・両市の魅力を発信する観光冊子の作成や LINE スタンプの販売、アプリ「ぶらり国・府」を活用したポイントラリーなどを実施することにより、両市の回遊やにぎわいを創出することができた。 ・歴史・文化を通じたまちへの誇り・愛着が醸成された。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・国分寺市との協働による両市の魅力を発信する事業の継続 ・東山道武蔵路や古代国府・国分寺の歴史などの活用 		
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業		
担 当 課	ふるさと文化財課及び観光プロモーション課	

事業No. 44 美術館による東京オリンピック・パラリンピック関連企画の実施

事業概要

前回の東京オリンピック・パラリンピックが開催された1964年にちなみ、1960年代の日本で制作された絵画や版画、さらには1964年の東京オリンピックのポスターを展示・紹介することで、当時の社会や文化を振り返りながら、オリンピック開催への機運醸成を図る。

事業計画	プラン	実施
平成28年度	■事業内容の検討	■事業内容の検討
平成29年度	■市民所有のオリンピック・パラリンピック関連グッズ登録開始	■1964年東京オリンピック・パラリンピック開催当時の写真・資料（開催ポスターほか数点）の収集 ■1000日前イベントにおけるアウトリーチ（出張企画）の開催
平成30年度	—	—
令和元年度	—	—
令和2年度	—	—
令和3年度	■東京2020大会開催期間にあわせ、市民ギャラリーで展示会を開催	■前回の東京オリンピック・パラリンピックが開催された1964年にちなみ、1960年代の日本で制作された絵画や版画、1964年の東京オリンピックのポスターの展示・紹介

大会後に目指すレガシー

- ・生活と美をテーマとして府中市美術館らしく大会気運を醸成する。
- ・1964年を足掛かりとして56年前の市民生活への理解を深める。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

- ・美術館による東京オリンピック・パラリンピック関連企画の実施を通し、文化芸術に対する市民意識の高揚や、新たな文化芸術層の獲得につながる成果を得ることができた。
- ・1964年の東京オリンピックのポスターを展示・紹介することで、当時の社会や文化を振り返りながら、オリンピック開催への機運醸成を図った。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担当課 美術館

魅力発信

オリンピック等の大会期間中は、国内外から多くの方が観戦に訪れることから、本市においても、観光客の受入れに向けて、観光パンフレットの多言語化などを行い、観光振興につなげるほか、無料公衆無線LANや主要駅前のサイン整備などを検討します。

また、ラグビーを地域資源とした「ラグビーのまち府中」の推進や国（内閣官房）が定めるホストタウンの取組へ参加し、本市の魅力を積極的に発信します。

取組とレガシー

(1) 取組

ア 観光資源の発信

- ▼ 観光ボランティアの育成【再掲】
- ▼ 観光マップの多言語化
- ▼ 観光資源プロモーション事業の推進
- ▼ 外国人向けの観光ルートの開発
- ▼ むさし府中商工会議所との連携によるインバウンドへの対応
- ▼ 郷土の森博物館の外国人利用者の促進
- ▼ 平和島競走事業における外国人入場者の促進
- ▼ ラグビーのまち府中の推進
- ▼ 特産品の開発の支援

イ 国内外の来訪者の受入れに伴う環境の整備

- ▼ 電線類地中化事業の推進
- ▼ 環境対策型舗装事業の推進
- ▼ 自転車走行空間の整備
- ▼ 駅前案内板や観光拠点の多言語化
- ▼ 府中駅、府中本町駅及び多磨駅周辺の公共サインの多言語化
- ▼ 無料公衆無線LANの整備
- ▼ オリンピック等の開催会場周辺のバリアフリー化
- ▼ 多磨駅の改良整備

ウ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施

- ▼ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施【再掲】

エ ホストタウン交流事業の推進

- ▼ ホストタウン交流事業の推進

オ 府中駅北口改札前情報発信施設における魅力発信

- ▼ 「183 FUCHU FAN ZONE」における魅力発信

(2) 取組によるレガシー

- ◆ 国内外の観光客が本市の魅力を発見し、観光客が増加します。
- ◆ 本市の地域資源をブランド化し、地域経済が活性化します。

■ 観光資源の発信

事業No. 30 観光ボランティアの育成【再掲】		
事業No. 45 観光マップの多言語化		
事業概要		
外国人観光客の市内での周遊を促進するため、多言語の観光マップを作成する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■英語版の観光マップの配布	■英語版の観光マップの配布
平成29年度	■多言語の観光マップの作成	■英語版・中国語版(簡体及び繁体)・韓国語版の観光マップの作成
平成30年度	■多言語の観光マップの配布	■京王線沿線観光連絡会議連携部会で、日野・多摩・府中・稲城市を巡る観光マップの英語版を作成
令和元年度	■多言語の観光マップの配布	■英語・仏語・西語・中国語(繁体・簡体)・韓国語の観光ガイドブックを作成 ■英語版の観光マップを改定・配布
令和2年度	■既存多言語ガイドブックの増刷・言語の追加	■英語・仏語・西語・中国語(繁体・簡体)・韓国語の観光ガイドブックの増刷 ■新たに独語と印尼語の観光ガイドブックを作成
令和3年度	■多言語の観光マップの配布	■観光情報センター等における多言語の観光マップの配布
大会後に目指すレガシー		
・外国人観光客の増加につながる。		
東京2020大会を契機とした効果(成果)		
・観光マップの多言語化が進み、外国人観光客の受入態勢が構築された。		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
・多言語観光マップの配布・更新の継続的な取組		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	観光プロモーション課	

事業No. 46 観光資源プロモーション事業の推進

事業概要

府中観光協会のホームページを多言語化し、外国人向けの情報発信を強化する。また、外国人に影響力のあるSNS等を活用し、本市の観光情報の発信を行う。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■府中観光協会のホームページの多言語化 	<ul style="list-style-type: none"> ■府中観光協会ホームページを、視覚的に情報を取得できるWebデザインへ変更 ■当該ホームページを英語・中国語（簡体及び繁体）・韓国語で閲覧可能に改修
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人に影響力のあるSNS等での観光情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■海外からインフルエンサー招へいし、市内を巡りながらSNS等を活用して情報発信を実施 ■台湾・香港向け日本観光情報サイトで情報発信を実施 ■外国人観光客おもてなし職員による英語版Instagramでの情報発信を実施 ■外国人記者による英語版フェイスブックを開設し、外国人観光客おもてなし職員とともに情報発信を実施 ■海外向け観光情報ホームページ「Fuchu Official Visitor Guide」を開設し、市内観光情報を英語・フランス語・スペイン語で掲載 ■外国人観光客向けPR動画を作成し、成田国際空港で放映。また、YouTubeに投稿し、SNS等で情報を拡散
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人に影響力のあるSNS等での観光情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■前年度事業の継続実施 ■外国人観光客向けPR動画を新宿アルタビジョン及び渋谷スクランブル交差点街頭ビジョン4面で放映したほか、成田国際空

		<p>港におけるPR動画の放映も継続実施</p> <p>■市制施行65周年記念市民パレード開催日一週間前を中心に、京王線車内広告、京王線新宿駅ホームの広告、JRと京王線通路の広告及び京王線新宿駅構内のデジタルサイネージでPRを実施</p> <p>■東京都主催「調布ファンゾーン」内の市町村PRブースに出展し、観光パンフレットの配布や特産品の販売を実施</p>
令和2年度	<p>■外国人に影響力のあるSNS等での観光情報の発信</p>	<p>■台湾・香港向け日本観光情報サイトで情報発信を実施</p> <p>■外国人観光客おもてなし職員による英語版Instagramでの情報発信を実施</p> <p>■英語版フェイスブックでの情報発信を実施</p> <p>■海外向け観光情報ホームページ「Fuchu Official Visitor Guide」に中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、ドイツ語を新たに追加</p> <p>■外国人観光客向けPR動画の修正を行い、京王線の車内ビジョン（K-DGチャンネル）で放映</p> <p>■府中市観光ボランティアの会が実施する「市内観光ミニツアー」を題材とした外国人向けのPR動画を制作</p>
令和3年度	<p>■外国人に影響力のあるSNS等での観光情報の発信</p>	<p>■台湾・香港向け日本観光情報サイトで情報発信を実施</p> <p>■外国人観光客おもてなし職員による英語版Instagramでの情報発信を実施</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ■海外向け観光情報ホームページ「Fuchu Official Visitor Guide」の運用 ■京王線の車内ビジョン(K-DGチャンネル)に外国人観光客向けPR動画を放映 ■「府中市体験プログラム紹介動画」を制作
<p>大会後に目指すレガシー</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・海外に向けた観光情報の発信力を強化する。 ・情報発信による、外国人観光客の増加・市内の観光事業の活性化につながる。 		
<p>東京 2020 大会を契機とした効果（成果）</p>		
<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定した訪日外国人観光客の誘致はできなかったものの、公式 Instagram のフォロワー数は順調に増加するなど、本市に対する関心の高まりは東京 2020 大会の効果であった。</p>		
<p>今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体を活用した情報発信の継続 		
<p>令和 4 年度の新規・レベルアップ事業</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客向け PR 動画の掲出放映（外国人旅行者の入国の見通しが立たない状況などを考慮し、当面の間は京王線車内ビジョンに限定する予定） 		
<p>担 当 課</p>	<p>観光プロモーション課</p>	

事業No. 47 外国人向けの観光ルートの開発

事業概要

外国人向けのモニターツアーを実施し、外国人でも楽しめる本市の魅力的な観光資源をめぐる、観光ルートの開発を行う。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	■東京都の実証プログラム等を利用した外国人向けのモニターツアーの実施	■東京都の実証プログラム等を利用した外国人向けのモニターツアーの実施
平成29年度	■検証結果を基にした観光ルートの検討	■国分寺・府中観光振興連絡協議会が実施する、参加者に外国人を含むモニターツアーにおいて、外国人の視点からの観光ルートに関する意見・アンケートを収集
平成30年度	■外国人向けの観光ルートのPR ■観光ツアーの実施	■在住外国人向けフィールドワークにおいて、外国人の視点からの観光ルートに関する意見・アンケートを収集
令和元年度	■外国人向けの観光ルートのPR ■観光ツアーの実施	■海外インフルエンサーの視点から観光ルートに関する意見を収集
令和2年度	■外国人向けの観光ルートのPR ■観光ツアーの実施	■外国人観光客向けの市内観光ルートPR動画の作成にあたり、府中市観光ボランティアの会の監修のもと、外国人が楽しめるコースを開発
令和3年度	■外国人向けの観光ルートのPR ■観光ツアーの実施	■寿司づくりや竹あかり製作など、外国人観光客が府中市内で体験することができるプログラム紹介の動画制作

大会後に目指すレガシー

- ・外国人観光客向けの観光ルートの開発により、市内での回遊性が向上する。
- ・外国人向けの情報発信力を強化する。
- ・外国人観光客の増加につながる。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定した訪日外国人観光客の誘致はできなかったものの、外国人旅行者の入国が再開した際に有用な情報等を蓄積することができた。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・ 府中市体験プログラムの販売スキームの検討
- ・ 同プログラムの体験店舗の拡充に向けた調整

令和4年度の新規・レベルアップ事業

- ・ 府中市体験プログラムの販売体制の構築

担 当 課 観光プロモーション課

事業No. 48 むさし府中商工会議所との連携によるインバウンドへの対応		
事業概要		
むさし府中商工会議所と連携し、東京都が実施している「多言語メニュー作成支援ウェブサイト（EAT TOKYO）」への市内飲食事業者の登録を支援する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■むさし府中商工会議所において実施する研修の支援	■むさし府中商工会議所において実施した「EAT TOKYO」研修の支援
平成29年度	■むさし府中商工会議所において実施する研修の支援	■外国人へのおもてなしの心を醸成する事業実施に向けた準備
平成30年度	■むさし府中商工会議所において実施する研修の支援	■市内飲食事業者に向けた、「EAT TOKYO」の周知 ■市内事業者への巡回時において情報提供
令和元年度	■むさし府中商工会議所において実施する研修の支援	■市内飲食事業者に向けた、「EAT TOKYO」の周知 ■市内事業者への巡回時において情報提供 ■インバウンドへの対応にむけた、決済端末導入及び看板やメニューの多言語化に係る補助金交付による支援の実施
令和2年度	■むさし府中商工会議所において実施する研修の支援	■市内飲食事業者に向けた、「EAT TOKYO」の周知 ■市内事業者への巡回時において情報提供 ■インバウンドへの対応にむけた、決済端末導入に係る補助金交付による支援の実施
令和3年度	■市内飲食事業者に向けた、「EAT TOKYO」の周知 ■市内事業者への巡回時において情報提供	■市内飲食事業者に向けた、「EAT TOKYO」の周知 ■市内事業者への巡回時において情報提供
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内飲食店に多言語メニュー化された店舗が増加することにより、外国人客のより一層の誘引につながる。 ・「外国人へのおもてなし力」の向上につながる。 		

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・ラグビーワールドカップと東京 2020 大会を契機として、東京都が実施している「EAT TOKYO」の周知を行った。
- ・看板等多言語化事業については令和元年度に看板 2 件、メニュー 2 件の多言語化を行い、外国人客の受入れに対応できるような取り組みを図った。
- ・訪日外国人決済事業については令和元年及び 2 年度に計 94 件の事業者が利用し、キャッシュレス決済対応の促進したことにより、外国人へのおもてなし力の向上に寄与した。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・府中に来訪した外国人への「おもてなし力」の向上に向けた取組

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課	産業振興課
-------	-------

事業No. 49 郷土の森博物館の外国人利用者の促進		
事業概要		
市内に所在する東京外国語大学等と連携し、郷土の森博物館の外国人向けのパンフレット（4か国語対応を想定している。）を作成し、常設展示室・復元建築物の見学時に配布する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■事業内容の検討	■事業内容の検討
平成29年度	■検討結果を基にした関係団体等との協議の実施	■博物館パンフレット外国語版の作成検討
平成30年度	■外国人向けのパンフレットの作成	■翻訳ボランティア講座を開催し、パンフレット原稿を作成
令和元年度	■外国人利用者へのパンフレットの配布	■外国人利用者へのパンフレット配布
令和2年度	■外国人利用者へのパンフレットの配布	■外国人利用者へのパンフレット配布
令和3年度	■外国人利用者へのパンフレットの配布	■外国人利用者へのパンフレット配布
大会後に目指すレガシー		
・外国人観光客の増加につながる。		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
・パンフレットの作成と配布を実施した。新型コロナウイルスの影響により、外国人来館者は少ないものの、今後も継続し、外国人観光客の増加へつなげていく。		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
・パンフレットの配布の継続		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	ふるさと文化財課	

事業No. 50 平和島競走事業における外国人入場者の促進

事業概要

外国人向けパンフレットを作成するなど、外国人入場者数の増加を図る取組を実施する。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	■事業内容の検討	■外国人入場者数の増加を図る取組について事業内容を検討在日・訪日中国人観戦ツアーなどの事業を実施
平成29年度	■外国人向けのパンフレットの作成	■外国人向けパンフレット（英語、中国語2種、韓国語）の作製・配布 ■在日・訪日中国人観戦ツアーなどの事業を実施
平成30年度	■外国人入場者参加促進事業の実施	■外国人向けパンフレット（英語、中国語2種、韓国語）を配布 ■在日・訪日中国人観戦ツアーなどの事業を実施
令和元年度	■外国人入場者参加促進事業の実施	■外国人向けパンフレット（英語、中国語2種、韓国語）を配布 ■在日・訪日中国人観戦ツアーなどの事業を実施
令和2年度	■外国人入場者参加促進事業の実施	■外国人向けパンフレット（英語、中国語2種、韓国語）を配布 ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観戦ツアー等の事業は見送り
令和3年度	■外国人入場者参加促進事業の実施	■外国人向けパンフレット（英語、中国語2種、韓国語）を配布 ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観戦ツアー等の事業は見送り

大会後に目指すレガシー

- ・外国人観光客の増加につながる。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

- ・外国人向けパンフレット（英語、中国語2種、韓国語）の配布
- ・在日・訪日中国人観戦ツアーなどの事業の実施

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- 外国人向けパンフレット（英語、中国語2種、韓国語）の配布
- 在日・訪日中国人観戦ツアーなどの事業の実施

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担 当 部 事業部

事業No. 51 ラグビーのまち府中の推進

事業概要

市内には、本市をホームタウンとしている東芝ブレイブルーパス及びサントリーサンゴリアスがあることから、オリンピック等の開催を契機に「ラグビーのまち府中」をブランド化し、市民、チーム、事業者及び市が連携していくことでレガシーを創出する取組を実施する。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	<p>【事業の実施体制の構築】</p> <p>■ラグビーのまち府中推進委員会の設立</p> <p>【事業の実施】</p> <p>■シンボルマークの作成・普及、パネル展示、府中ダービー市民招待、まちづくり意見交換会、特産品の開発、観光マップの作成、特設ホームページの開設、パートナー事業の実施、ラグビー体感イベント等の実施</p>	<p>【事業の実施体制の構築】</p> <p>■ラグビーのまち府中推進委員会の設立</p> <p>【事業の実施】</p> <p>■シンボルマークの作成・普及、パネル展示、府中ダービー市民招待、まちづくり意見交換会、特産品の開発、観光マップの作成、特設ホームページの開設、パートナー事業の実施、ラグビー体感イベント等の実施</p>
平成29年度	<p>■事業の実施</p>	<p>■ラグビーのまち府中推進委員会を主体とした各種ラグビー関連事業の実施</p> <p>【関連事業】</p> <p>ラグビーのまち府中フォーラム/まちづくりカフェ/府中ダービープレシーズンマッチ/トップリーグ観戦バスツアー/府中ダービーマッチ/ラグビーのまち府中デー等</p> <p>【PR事業】</p> <p>他事業でのブース出店/商店街におけるバナーフラッグ掲出/ガイドブック増刷・配布/タウンサイト運営・twitter発信等</p>
平成30年度	<p>■事業の実施</p>	<p>■ラグビーのまち府中推進委員会を主体とした各種ラグビー事業の実施</p> <p>【関連事業】</p>

		<p>ラグビーワールドカップ2019 開催500日前記念ボランティア・おもてなしフォーラム/府中 ダービープレシーズンマッチ/ト ップリーグ観戦バスツアー/イン グランド&フランスラグビーフェ スティバル/ラグビーのまち府中 デー</p> <p>【PR事業】 他事業でのブース出店/商店街に おけるバナーフラッグ掲出/ガイ ドブック改訂・配布/タウンサイ ト運営・twitter 発信等</p>
令和元年度	■事業の実施	<p>■ラグビーのまち府中推進委員 会を主体とした各種ラグビー事 業の実施</p> <p>【関連事業】 ラグビーワールドカップ2019 ™開催100日前記念フォーラム in 府中～レガシーの創出に向け て~/リポビタンDチャレンジカ ップ パシフィックネーションズ 日本ラウンド（日本代表vトン ガ代表）パブリックビューイング /リポビタンDチャレンジカップ 2019（日本代表v南アフリ カ代表）パブリックビューイング /TBS 日曜劇場「ノーサイド・ゲ ーム」最終回直前!! 出演者トーク シ ョ ー /FUCHU RUGBY WEEK～ラグビーのまちで世界 の熱戦を~/東芝プレイブルーパ ス&サントリーサンゴリアス日本 代表報告会</p> <p>【PR事業】 他事業でのブース出店/商店街に おけるバナーフラッグ掲出/ガイ ドブック改訂・配布/タウンサイ</p>

		ト運営・twitter 発信/183 FUCHU FAN ZONE における展示/デザインマンホールの作成・設置等
令和 2 年度	■事業の実施	<p>■ラグビーのまち府中推進委員会を主体とした各種ラグビー事業の実施</p> <p>【関連事業】</p> <p>「ラグビーのまち府中」モニュメントの設置に向けたクラウドファンディング/「ラグビーのまち府中」オンライントークショー/「ラグビーのまち府中」モニュメント完成記念式</p> <p>【PR 事業】</p> <p>けやき並木おけるバナーフラッグの掲出/タウンサイト運営・twitter 発信/ラグビーワールドカップ 2019 記念誌の作成/183 FUCHU FAN ZONE における展示</p>
令和 3 年度	■事業の実施	<p>■ラグビーのまち府中推進委員会を主体とした各種ラグビー事業の実施</p> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビートレーニングマッチ（練習試合市民公開） ・府中ダービーマッチ市民観戦招待 ・タウンサイト運営/twitter 配信 <p>【PR 事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新リーグ開幕気運醸成事業（シティドレッシング/選手対談） <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビートレーニングマッチ（練習試合市民公開）

	<ul style="list-style-type: none"> ・府中ダービーマッチ市民観戦招待 ・タウンサイト運営/twitter 配信
--	--

大会後に目指すレガシー

- ・市民の市への愛着と誇りにつながる。
- ・ラグビーブランド創出による地域の活性化につながる。
- ・ラグビー人口の増加による「スポーツタウン府中」の発展に寄与する。

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・「ラグビーのまち府中」が府中市のブランドの1つとして定着したことで、市民への愛着と誇りの醸成に寄与した。
- ・ラグビーのまち府中のイベント創出により地域の活性化が促進された。
- ・ラグビーファン及び競技人口の増加が図られ、「スポーツタウン府中」の更なる発展に寄与した。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・「ラグビーのまち府中」を資源とした継続的な活用
- ・それによる市民の市への愛着の醸成、市の知名度の向上、地域の活性化、「スポーツタウン府中」への発展への寄与
- ・ラグビーのまち府中推進委員会を中心としたラグビーに係る各種取り組みの継続

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

【ラグビーのまち府中推進事業】

- ・ラグビーのまち府中推進委員会を中心としたラグビーに係る各種取り組みの継続

【中心地にぎわい創出事業】

- ・ラグビーイベント時のにぎわい創出

担 当 課 政策課



東芝ブルーパス&サントリーサンゴリアス 日本代表報告会
(2019.11.2)

【参考】ラグビーのまち府中推進委員会

【設 立】平成28年7月

【目 的】市内には、本市を活動拠点としている東芝ブレイブルーパス及びサントリーサンゴリアスがあることから、オリンピック等の開催を契機に「ラグビーのまち府中」をブランド化し、市民、チーム、事業者及び市が連携していくことで、ラグビーの気運醸成、キャンプ地の誘致、競技人口の拡大及び観光振興の4つの柱を基に、レガシーを創出する取組を推進することを目的とする。

【委員選出母体】府中市ラグビーフットボール協会、東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス、むさし府中商工会議所、府中市商店街連合会、府中観光協会及び府中市

事業No. 52 特産品の開発の支援

事業概要

市の特産品を開発するための事業及び特産品となる可能性のある商品の展示会の出展又は広告等に係る事業に対し、補助金を交付する。本事業は、これまでも実施している事業であるが、オリンピック等の開催に向けて、更に推進するものである。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	■補助金の交付による支援の実施	■特産品開発事業1事業及び市場開拓事業1事業、計2事業に対する、補助金の交付による支援
平成29年度	■補助金の交付による支援の実施	■計3件の事業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・府中に昔から伝わる昔話の絵本の販売促進 ・府中市産野菜を使用したレトルトカレーの開発 ・府中市内で生産されたブルーベリーを活用したアイスクリームの開発
平成30年度	■補助金の交付による支援の実施	■計3件の事業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵府中郷土かるたの解説本の開発 ・府中市内で生産されたトマトを使用したピューレの開発 ・府中市内で生産されたブルーベリーを活用したアイスクリーム「TOKYO 府中アイス」の販売促進
令和元年度	■補助金の交付による支援の実施	■計2件の事業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵府中郷土かるたの解説本の販売促進 ・府中市内で生産された梨を使用したカレーの開発
令和2年度	■補助金の交付による支援の実施	■計1件の事業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・府中観光協会推奨品のぶどうを使用したビールの開発
令和3年度	■補助金の交付による支援の実施	■計1件の事業支援 日本酒(国府鶴)の販売促進アーティフィシャルフラワー(造花)

	と組み合わせた「和モダン」ギフトセットの販売展開
大会後に目指すレガシー	
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品の増加により、市のPRにつながる。 ・市内商業の活性化が期待でき、観光振興にもつながる。 	
東京 2020 大会を契機とした効果（成果）	
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業で支援を行った「府中市内で生産されたブルーベリーを活用したアイスクリーム」を、東京 2020 大会に参加したオーストリアの卓球チームに提供し、Instagramで周知を図るなど、本市のPRに寄与した。 	
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え	
<ul style="list-style-type: none"> ・府中の特産品の市内外への発信の検討 	
令和 4 年度の新規・レベルアップ事業	
担 当 課	産業振興課

■ 国内外の来訪者の受入れに伴う環境の整備

事業No. 53 電線類地中化事業の推進		
事業概要		
オリンピック等の開催会場である東京スタジアムの市内最寄り駅である多磨駅周辺の道路（朝日町通り、多磨駅東通り、市道1-306号及び市道1-307号）について、電線類の地中化を行う。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■ 4路線の電線類地中化工事の実施	■ 4路線の電線類地中化工事の実施
平成29年度	■ 4路線の電線類地中化工事の実施	■ 4路線の電線類地中化工事の実施
平成30年度	■ 4路線の電線類地中化工事の実施	■ 4路線の電線類地中化工事の実施
令和元年度	■ 4路線の電線類地中化工事の実施	■ 4路線の電線類地中化工事の実施
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・電柱を道路からなくすことで、大会期間中だけでなく、大会後も市民の交通利便性が向上し、災害時に電柱の倒壊がなくなるため、防災・減災に寄与する。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・開催会場周辺の朝日町通り、多磨駅東通り、市道1-306号及び市道1-307号が電線類地中化（無電柱化）されたことにより、会場周辺の都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保及び良好な都市景観の創出が図られた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・電線類地中化事業（無電柱化事業）の路線の計画的な整備 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	道路課	

事業No. 54 環境対策型舗装事業の推進

事業概要

オリンピック等の開催会場である東京スタジアムの市内最寄り駅である多磨駅周辺の道路（スタジアム通り及び多磨駅東通り）について、舗装を遮熱性舗装に変更する。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	■測量・設計	■測量・設計の実施
平成30年度	■スタジアム通りの工事の実施	■スタジアム通りの工事の実施
令和元年度	■多磨駅東通りの工事の実施	■多磨駅東通りの工事の実施
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—

大会後に目指すレガシー

- ・路面温度の上昇を防ぐことにより、来訪客の熱中症予防効果及び交通利便性が向上する。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

- ・開催会場周辺の多磨駅東通り、スタジアム通りの車道路面温度の上昇抑制を図る遮熱性舗装整備により、選手、観客等への快適な環境の提供に資する暑熱対策として効果を得られた。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・環境対策型舗装事業（ヒートアイランド対策事業）の府中市内他路線への採用の検討

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担当課 道路課

事業No. 55 自転車走行空間の整備

事業概要

オリンピック等の開催会場である東京スタジアム周辺の道路（スタジアム通り）において、自転車走行空間の整備を行う。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	■実施調査 (交通量調査・実施設計)	■交通量調査及び実施設計の実施
平成30年度	■工事の実施	■スタジアム通りに普通自転車専用通行帯を整備
令和元年度	—	—
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—

大会後に目指すレガシー

- ・歩行者・自転車・自動車が共に安全で快適に通行できる。
- ・大会の雰囲気や観光地のにぎわいを自転車で楽しめる。
- ・市民の交通利便性及び安全性が向上する。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

- ・ロードレース競技を契機として自転車への関心が高まった。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

・歩行者・自転車・自動車が共に安全で快適な通行をするための自転車走行空間の整備の継続

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担当課 地域安全対策課



スタジアム通り

事業No. 56 駅前案内板や観光拠点の多言語化

事業概要

オリンピック等の開催に当たっては、海外から多くの観光客が本市を訪れることが見込まれることから、本市の地域資源等の魅力を効率的に発信するため、駅前案内板や観光拠点の多言語化を行う。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	■駅前案内板の多言語化の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■東府中駅、白糸台駅、武蔵野台駅、中河原駅、多磨霊園駅の駅前案内板の多言語化 ■観光情報センターに多言語に対応したデジタルサイネージの設置 ■テレビ電話を介して提供する映像通訳サービスを利用するためのタブレット端末の整備
平成29年度	■駅前案内板・観光情報センター周辺のサインの多言語化の実施	■府中競馬正門前駅、是政駅、競艇場前駅、北府中駅（各1基）、西府駅（2基）の駅前案内板の多言語化の実施
平成30年度	■駅前案内板のサインの多言語化の検討・実施	—
令和元年度	■観光物産館のサインの多言語化の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ■多言語観光情報サイト「Guidoor（ガイドア）」を活用し、市内観光スポットの紹介を日本語のほか、英語、中国語（簡体・繁体字）、韓国語、フランス語、スペイン語、インドネシア語、タイ語の8か国語・9言語で掲載 ■同サイトのQRコードを掲載したステッカーを市内の観光案内板などに貼り出すことで、利用者が手軽にアクセスできる環境を整備 ■観光物産館内及び入り口付近の案内サインに英語表記を追加
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—

大会後に目指すレガシー

- ・外国人を含む観光客の増加につながる。

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・駅前案内板の多言語化により、外国人を含む利用者の利便性向上につながった。
- ・東京 2020 大会に向けて、訪日外国人観光客向けの案内整備が進んだ

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・多言語に対応した駅前案内板の整備
- ・多言語案内ツールの維持管理の継続

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課 広報課、観光プロモーション課ほか

事業No. 57 府中駅、府中本町駅及び多磨駅周辺の公共サインの多言語化

事業概要

オリンピック等については、東京スタジアムが開催会場になっており、国内外から多くの方々が観戦に訪れることとなることから、本市においても、外国人観光客の増加が見込まれる状況を踏まえ、市の中心拠点である府中駅及び府中本町駅周辺並びに東京スタジアムの市内最寄駅である多磨駅周辺の2箇所について、重点的に公共サインの多言語化を行う。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	■サイン整備計画の策定	■府中駅及び府中本町駅周辺並びに多磨駅周辺の公共サインの現況調査及び整備計画素案の作成
平成29年度	■サイン整備の検討・実施	■新たに設置するサインの位置や撤去する既存看板についての検討
平成30年度	■サイン整備の実施	■サイン整備の実施
令和元年度	—	—
令和2年度	—	—
令和3年度	—	<p>■（庁内会議）府中市公共サイン整備検討会議を設置</p> <p>本市の公共サイン基本計画が策定後30年以上経過し、既存サインの経年劣化や社会情勢の変化とともに、ユニバーサルデザインの対応を求められる状況であるため、検討会を設置し、市内全域を整備する方向性を決定した。</p> <p>※道路課は整備主体を担った。</p> <p>■実態に合わせた公共サイン盤面の一部修正</p>

大会後に目指すレガシー

- ・外国人観光客の増加につながる。
- ・円滑な大会運営につながる。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

・本市を訪れた外国人観光客等への円滑な案内誘導に効果をもたらし大会運営の成功に寄与した。

・令和2年度に公共サイン実態調査を行い、オリンピックを契機に先行して整備した府中駅や多磨駅周辺の公共サインについて、アンケート調査を行ったところ、多くの利用者から、整備後のサインのように統一した表現や一貫性のあるデザインでサイン整備を進めていくことが必要だと、意見をいただいた。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・多言語対応の公共サインの適切な維持管理（継続して外国人への適切な案内誘導）
- ・市内全域の公共サインの整理・集約（令和4年から8年にかけて再整備を実施予定）

令和4年度の新規・レベルアップ事業

【公共サイン整備事業】

- ・府中市公共サイン整備計画を作成
- ・対象エリアの配置計画作成（対象エリアを複数に分け、順次整備予定）

担 当 課 政策課、広報課、観光プロモーション課、道路課、計画課ほか



多言語化した公共サイン

事業No. 58 無料公衆無線LANの整備		
事業概要		
オリンピック等で使用される練習施設周辺やオリンピック等で外国人を含む観光客の訪問が見込まれるスポットに、無料公衆無線LANを整備する。		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	■屋外1箇所・屋内21施設への無料公衆無線LANの整備	■けやき並木及び公共施設21箇所における無料公衆無線LAN整備
平成29年度	■新たな無料公衆無線LANの整備箇所の検討、及び無料公衆無線LANの整備	■京王線府中駅南口ペデストリアンデッキ及び公共施設2箇所に無料公衆無線LANを整備
平成30年度	■新たな無料公衆無線LANの整備箇所の検討、及び無料公衆無線LANの整備	■次の3箇所に無料公衆無線LANを整備 ・けやき並木通り ・府中駅北口ペデストリアンデッキ ・府中駅タクシー乗り場付近
令和元年度	■新たな無料公衆無線LANの整備箇所の検討、及び無料公衆無線LANの整備	■西武多摩川線多磨駅東口駅前ロータリーに無料公衆無線LANを整備
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人を含む観光客の増加につながる。 ・来訪した観光客にSNS等で市の魅力を発信してもらうことができる。 		
東京2020大会を契機とした効果（成果）		
<ul style="list-style-type: none"> ・無料公衆無線LANのアピールフラッグやステッカー等の啓発品を活用することにより、市内の情報通信の活発化の一助となり、オリパラの気運醸成に役立てることができた。 		
今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え		
<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランにある「大会後に目指すレガシー（外国人を含む観光客の増加・来訪した観光客によるSNS等で市の魅力発信）」の維持、発展 ・アクセスポイントの運用・管理 		
令和4年度の新規・レベルアップ事業		
担当課	情報管理課ほか	



FUCHU City Free Wi-Fi

事業No. 59 オリンピック等の開催会場周辺のバリアフリー化

事業概要

オリンピック等の開催会場周辺のスタジアム通り、多磨駅東通り及び朝日町通りの歩道においては、視覚障害者誘導用ブロックが未設置、またはすでに設置されているがJIS規格ではないため、誘導用ブロックの設置を進める。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	—	■測量・設計の実施
平成30年度	■スタジアム通り及び多磨駅東通り（一部）での施工	■スタジアム通り及び多磨駅東通り（一部）での施工
令和元年度	■多磨駅東通り（一部）及び朝日町通りでの施工	■多磨駅東通り（一部）及び朝日町通りでの施工
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—

大会後に目指すレガシー

- ・誰もが安全で利用しやすい歩行空間を確保する。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

開催会場周辺の多磨駅東通り、朝日町通り、スタジアム通りの歩行者移動経路について、視覚障害者のためのバリアフリー化が図られた。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・府中市内の視覚障害者誘導用ブロック規格外設置路線の改良整備の推進

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担当課 道路課

事業No. 60 多磨駅の改良整備

事業概要

オリンピック等の開催会場周辺駅である多磨駅において、自由通路の整備と駅舎の橋上化等の鉄道施設の改良整備を行う。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	—	—
平成30年度	■実施設計、準備工事の実施	■実施設計、準備工事の実施
令和元年度	■本体工事の実施	■本体工事の実施
令和2年度	■本体工事の実施、供用開始	■本体工事の実施、供用開始
令和3年度	■地下通路等の撤去工事の実施 ■ホーム上屋設置工事の実施 ■外構工事の実施	■地下通路等の撤去工事、ホーム上屋設置工事、外構工事の実施（多磨駅の改良整備に関わる事業の完了）

大会後に目指すレガシー

・自由通路の整備と鉄道施設の改良整備を併せて行うことにより、市民の移動の円滑化と駅の利便性向上が図られる。

東京2020大会を契機とした効果（成果）

・多磨駅が東京2020大会における自転車ロードレース会場の最寄り駅として利用されることも踏まえ、駅舎の橋上化とあわせて、駅の東西を結ぶ自由通路を整備し、バリアフリー化した安全で快適な移動経路を整備した。（R2.12月に供用開始）

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・多磨駅の自由通路に係る維持管理
- ・多磨駅西側の駅前広場の整備の推進

令和4年度の新規・レベルアップ事業

担当課 地区整備課



西武多摩川線 多磨駅

■ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施

事業No. 21	東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに係る取組の実施【再掲】
----------	-------------------------------------

■ ホストタウン交流事業の推進

事業No. 61	ホストタウン ^{*4} 交流事業の推進
----------	------------------------------

事業概要

本市は、オーストリア共和国の首都ウィーン市ヘルナルス区と友好都市提携を締結していることから、オーストリアのホストタウンとしての登録を目指し、相手国との交流を行う。また、野球オーストラリア代表の事前キャンプを誘致していることから、オーストラリア連邦のホストタウンとしての登録を目指すとともに、相手国との交流を進める。

事業計画	プラン	実績
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流計画の策定 ■ ホストタウンの申請 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オーストリアのホストタウンの交流計画作成及び登録申請
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オーストリア・オーストラリアのホストタウンとして登録 ■ 学校給食でのオーストリア料理の提供
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オーストラリア・ロビーナ高校野球科生徒が府中市を訪れ、交流事業を実施 ■ オーストリア料理・オーストラリア料理の学校給食を提供 ■ 車いすバスケットボールオーストラリア代表との交流
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車いすバスケットボールオーストラリア代表との交流 ■ 府中市ホストタウンフェスティバルの開催 ■ 在日オーストラリア大使館による小学校授業 ■ オーストリア音楽演奏会、ヘルナルス区訪問団との交流イベントの実施

		<ul style="list-style-type: none"> ■ オーストラリアホストタウン展 in 183 FUCHU FAN ZON の開催 ■ オーストラリアカフェ at オレンジブーツの開催 ■ オーストラリアへの青少年派遣に向けた事前研修の開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、派遣は中止)
令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流事業の実施 ■ ホストタウン PR の検討・実施 ■ オーストラリア青少年派遣事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホストタウンフレーム切手の作製 ■ オーストラリアオリンピック委員会の主催により、南町小学校とオーストラリアの小学校がオンライン交流を実施 ■ ホストタウンロゴマークの作成 ■ ホストタウン応援動画の制作 ■ ホストタウン関連展示 ■ ホストタウン展 in 183 FUCHU FAN ZONE の開催
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流事業の実施 ■ オーストラリア青少年派遣事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オーストラリアオリンピック委員会の主催により、市内小学校とオーストラリアの小学校とのオンライン交流を実施 ■ 大会チケットを活用し、キャンプ実施予定のオーストリア・オーストラリア代表チーム等に向けた応援写真募集企画を実施 ■ オーストリア料理の学校給食を提供 ■ 榊原魁・爽兄妹オンライントークショーを開催 ■ 榊原魁選手と本宿小の交流 ■ ホストタウンレガシーイベントを開催
大会後に目指すレガシー		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流の機会の拡充につながる。 ・ 相手国との交流を継続し、連携を密にする。 		

- ・相手国に関する市民の認知度が向上する。

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・オーストリア・オーストラリアの文化等に触れる機会を増やすことができた。
- ・子どもたちがオーストリア・オーストラリアの選手等とスポーツを通じた交流をすることができた。
- ・ホストタウンの取組にあわせて、友好都市との交流についても PR することができた。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・ホストタウン相手国の学校とのオンライン交流の継続
- ・オーストラリア青少年派遣事業の実施
- ・ホストタウンや都市交流に関する取組の PR
- ・市民が参加できるホストタウン相手国との交流機会の検討

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

【ホストタウン理解・促進事業】

- ・ホストタウンの両国文化理解促進・交流事業の実施

【友好都市盟約 30 周年記念事業】

- ・友好都市盟約 30 周年記念写真展及びワークショップの開催
- ・市長、市議会議員、市民訪問団によるヘルナルス区訪問

担 当 課 政策課、協働推進課ほか

※4 ホストタウン：オリンピック等の開催に向けて、スポーツ立国・グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等の観点から、希望する自治体を「ホストタウン」として国が登録する。ホストタウンは全国各地に広がることで、大会開催の効果を全国に波及させることが強く期待されている。



オーストリアとの文化交流



オーストラリアの小学校との
オンライン交流授業



FUCHU
Host Town
AUSTRIA



FUCHU
Host Town
AUSTRALIA

府中市ホストタウンロゴマーク

■ 府中駅北口改札前情報発信施設における魅力発信

事業No. 62 「183 FUCHU FAN ZONE」における魅力発信		
事業概要		
<p>飲食提供しながら府中ブランドや時期を捉えた市政の重点取組に係る情報発信を行う施設を民間事業者と協働で整備する。当施設でオリンピック等を契機に本市の魅力を発信することで、来訪者を誘引し賑わいを創出するとともに、市民の本市への愛着を醸成する。</p>		
事業計画	プラン	実績
平成28年度	—	—
平成29年度	—	—
平成30年度	■施設の整備	■施設の整備
令和元年度	■施設の開設・魅力発信	■施設の開設 ■各種魅力発信イベントの実施 （オープニングイベント/TBSドラマ「ノーサイド・ゲーム」出演者トークショー、展示会/ ラグビーワールドカップ2019 展示会/オーストラリアホストタウン展） ■ラグビーワールドカップ2019大会期間中におけるインフォメーションブースの設置、店内試合放送の実施
令和2年度	■魅力発信	■各種魅力発信イベントの実施 （「ラグビーのまち府中」オンライントークショー/「ラグビーのまち府中」モニュメント完成記念キャンペーン/ホストタウン関連展示） ※新型コロナウイルスの影響で、令和2年4月・5月は臨時休業（6月以降は時間短縮にて実施）
令和3年度	■魅力発信	■各種魅力発信イベントの実施 ・東京2020大会関連トークイベント ・東京2020大会関連展示

※新型コロナ感染拡大防止のため、時間を短縮して営業

大会後に目指すレガシー

- ・ 来訪した観光客へ、市のPRができる。
- ・ 市民の市への理解・愛着につながる。

東京 2020 大会を契機とした効果（成果）

- ・ 市民及び市外から来訪した観光客等へ、市の情報発信を行うことができた。
- ・ 当該施設の利用を通して、市民へ本市の取組の理解と愛着の向上に寄与した。

今後レガシーとして継続していく取組や将来的な考え

- ・ 同施設のスポーツの魅力および観光情報の発信拠点としての取組の継続

令和 4 年度の新規・レベルアップ事業

担 当 課 政策課



183 FUCHU FAN ZONE

4 推進体制

国や組織委員会の動向を踏まえ、東京都や近隣自治体との連携を図りながら、市全体が一体となって施策を講じ、取組を推進します。

庁内体制

府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進本部

【本部長】：市長

【副本部長】：副市長・教育長

【本部長】：政策総務部長・政策総務部オリンピック・パラリンピック等推進担当参事
財政担当参事・行政管理部長・市民協働推進部長・市民部長
生活環境部長・文化スポーツ部長・福祉保健部長・子ども家庭部長
都市整備部長・事業部長・会計管理者・教育部長・議会事務局長

府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業検討部会

【委員】：政策総務部	政策課長・財政課長・広報課長
市民協働推進部	協働推進課長 ^(※)
生活環境部	産業振興課長 ^(※) ・観光プロモーション課長 ^(※)
文化スポーツ部	文化生涯学習課長 ^(※) ・ふるさと文化財課長 スポーツ振興課長 ^(※) ・美術館副館長
福祉保健部	地域福祉推進課長 ^(※) ・健康推進課長
子ども家庭部	保育支援課長・児童青少年課長
都市整備部	計画課長
教育部	学務保健課長・指導室長

※オリンピック・パラリンピック等関連事業推進担当主幹を併任
(平成30年4月～)

その他の課においても、随時連携を図るものとする。

【事務局】：政策課

連携体制

本市が実施する関連事業の推進について、市民等と情報共有を図り、市全体が一体となって施策を講じるため、市民団体等で構成する実行委員会を設置しています。

東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会

【目的】大会開催を絶好の機会として捉え、最大限に活かしたまちづくりを進めるため、そして、両大会をきっかけとして世界中から本市を訪れる方々を市全体でおもてなしするために、市内関係者が協働して両大会に向けた取組を進めていく。

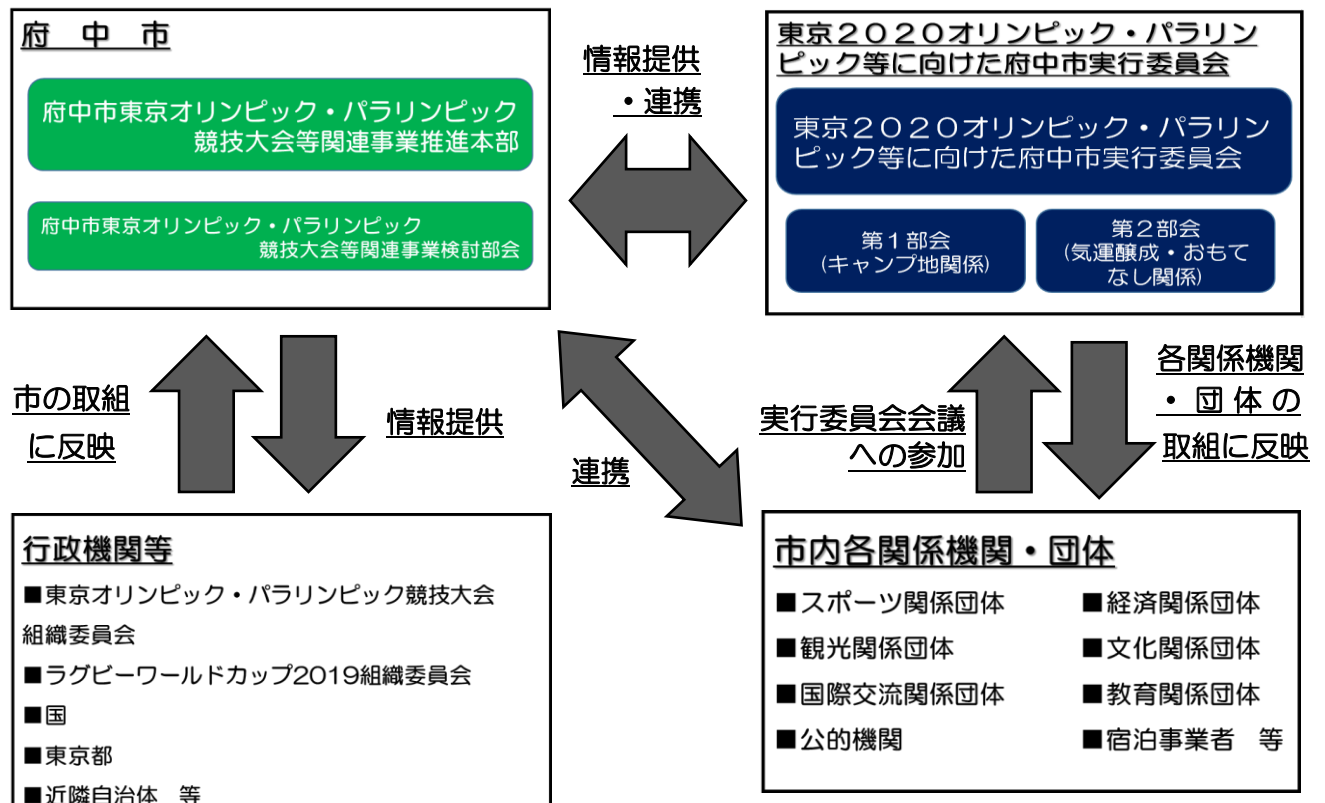
【設置時期】平成30年4月

(平成29年1月設置の「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進会議」の後身としての位置づけ)

【委員選出母体】スポーツ、経済、観光、文化、国際交流、教育、公的機関、宿泊事業者等の関係機関・団体から選出

【事務局】政策課

体制図



【参考資料】

年度・段階	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度以降 2022年度以降
	—	平昌冬季オリンピック ・パラリンピック	—	ラグビーワールド カップ2019	—	東京オリンピック ・パラリンピック	北京冬季オリンピック ・パラリンピック
大会 気 運 の 醸 成	(1) 市立小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	準備期間	本教育の実施	本教育の更なる活性化	関連事業等の実施		
	(2) 未就学児を対象としたオリンピック・パラリンピック教育の推進	教育内容の検討		スポーツ・文化関係の講師による実演と指導の実施			
	(3) オリンピアン・パラリンピアンを招いた競技体験等の実施			オリンピアン・パラリンピアン等による競技体験の実施			
	(4) オリンピック・パラリンピック競技等を紹介するイベントの実施	実施内容の検討		大会競技等を紹介するイベントの実施		PV・CLS	
	(5) オリンピック等の取組について考える意見交換会の実施			意見交換会の開催 翌年度の実施の検討の実施			
	(6) オリンピック等に関連した講演会・講座等の実施			講演会・講座等の実施			
	(7) オリンピック等関連事業と連携した交通安全啓発事業の実施			交通安全啓発事業の実施			
	(8) 東京2020参画プログラムへの参加			東京2020参画プログラムの申請・承認・事業の実施			
	(9) 図書館における特集展示・企画展の実施	リオ大会の展示	平昌大会の展示	サッカーWCの展示	ラグビーWCの展示	東京大会の展示	
	(10) 各イベントにおける大会関連ブースの設置			大会関連ブースの設置による市の取組等のPR			
	(11) 啓発物品等による大会PR活動の実施	啓発物品の作成の検討等		啓発物品の作成・配布	大規模展示	銘板・モニュメント設置	

取組によるレガシーの創出・継承

年度・段階	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度以降 2022年度以降	
	—	平昌冬季オリンピック ・パラリンピック	—	ラグビーワールド カップ2019	—	東京オリンピック ・パラリンピック	北京冬季オリンピック ・パラリンピック	
大会 気 運 の 醸 成	(12) 広報ふちゅう特集記事 「世界×府中×〇〇」の連載	広報ふちゅう「府中×世界×〇〇」の連載						取組によるレガシーの創出・継承
	(13) オリンピック等の特設ページ・ SNSでの情報発信	オリンピック等の特設ページ・SNSでの情報発信						
	(14) 東京都や組織委員会等と連携した 取組の実施	リアルライブサイト等	フラッグセレモニー等	事業の検討・実施				
	(15) 近隣自治体と連携した取組の実施	近隣自治体と連携した取組の実施						
	(16) 市内関係団体等と連携した取組の 実施	会議の設置等	会議による情報共有・連絡調整 事業の検討・実施					
	(17) 「都市鉱山からつくる！みんなの メダルプロジェクト」への参画	イベント回収・拠点回収の実施						
	(18) 聖火リレーの誘致	2020組織委員会等に対する要請の実施		聖火リレーのルート決定	実施内容の再検討	聖火リレーの実施		
	(19) 市職員向け研修の実施	研修内容の検討・実施 東京都等が主催するオリンピック等の講演会への職員の派遣						
	(20) 第4次府中市職員エコ・アクション プランの推進	環境に配慮した行動の更なる推進						
	(21) 東京2020オリンピック自転車 競技ロードレースに係る取組の実施	開催地決定・コースサポーター募集		テストイベント開催に伴う取組	連携調整・ロードレース開催に伴う取組			

年度・段階	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度以降 2022年度以降
	—	平昌冬季オリンピック ・パラリンピック	—	ラグビーワールド カップ2019	—	東京オリンピック ・パラリンピック	北京冬季オリンピック ・パラリンピック
キャンプ地の誘致	(22) 各国・各団体へのキャンプ誘致活動の実施	ラグビーワールドカップ2019					
		書類申請・審査	各国による実地視察・公認チームキャンプ地の決定等	キャンプの受入れ			
		東京2020オリンピック・パラリンピック					
			各国・各団体へのPR・交渉	キャンプ地の決定		キャンプの受入れ	
	(23) キャンプの受入れに必要な施設の整備	施設整備の検討	施設整備の実施		キャンプの受入れ		
(24) 市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築		市内の関係団体やトップチーム、宿泊事業者等との協力体制の構築		キャンプの受入れ			
(25) キャンプ実施国の理解を深める取組の実施や市民との交流機会の創出		キャンプ実施国の理解を深める取組の検討・実施		市民との交流会の開催			
ボランティアの育成支援	(26) ボランティア活動の推進		ボランティア活動の実施				
	(27) ボランティアに関する講演会の開催	実施内容の検討	講演会の開催	各大会における市民のボランティアへの参加			
	(28) 大規模スポーツ大会をきっかけとしたボランティアの育成		ボランティアの育成				
	(29) 外国人おもてなし語学ボランティアの育成		事業の実施	各大会における市民のボランティアへの参加			

取組によるしガシシーの創出・継承

年度・段階		平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度以降 2022年度以降
		—	平昌冬季オリンピック ・パラリンピック	—	ラグビーワールド カップ2019	—	東京オリンピック ・パラリンピック	北京冬季オリンピック ・パラリンピック
ボ ラ ン テ ィ ア	③0 観光ボランティアの育成	モニターツアー・研修会の実施等		外国人向けの観光ガイドツアーの実施				
	③1 大会期間中のおもてなし体制の構築	実施内容の検討	検討結果に基づく取組の実施等		キャンプ実施国や観光客に対するおもてなしの実施			
ス ポ ー ツ ・ 文 化 の 発 展	③2 各種スポーツイベント・大会の実施と参加へのきっかけづくり	市民大会等スポーツ大会の開催 体育館での各種教室の実施 文化センターでのスポーツイベントの実施						
	③3 障害者軽スポーツ大会の実施			ボッチャ体験の実施		取組の検討	パラリンピアン、競技体験	
	③4 トップスポーツを中心とした観戦・応援の機会の拡大と環境づくり	市民デーの開催 施設環境の整備の検討						
	③5 地域スポーツ振興のためのスポーツ指導者の派遣	スポーツ指導者の派遣						
	③6 ジュニアスポーツ活動及び全国大会等出場者への支援	補助金の交付による支援の実施						
	③7 「コミスポ協力者」の育成	資質向上のための研修会の開催 登録制度の周知						
	③8 誰もが参加できるスポーツなどの普及・啓発	実施内容の検討	障害者スポーツ用具の購入、障害者スポーツ体験型イベント・出前講座の開催等					
	③9 生涯学習センターでのパラリンピック競技の体験講座などの実施	体験講座の実施						
	④0 府中市における多様な文化プログラムの発信	実施内容の検討	事業の実施					

取組によるレガシーの創出・継承

年度・段階		平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度以降 2022年度以降
		—	平昌冬季オリンピック ・パラリンピック	—	ラグビーワールド カップ2019	—	東京オリンピック ・パラリンピック	北京冬季オリンピック ・パラリンピック
スポーツ・文化の発展	(41) 平和の祭典から「平和」を考えるウィークの開催				事業の実施			
	(42) 市史編さん刊行物の制作・配布・頒布	資料の収集・調査の実施		市内大学等との連携協力体制の構築、市史ガイドブックの作成・配布・頒布等				
	(43) 「東山道武蔵路と古代国府・国分寺(仮称)」の普及・啓発	日本遺産認定に向けた取組の実施			普及啓発事業の実施			
	(44) 美術館による東京オリンピック・パラリンピック関連企画の実施	実施内容の検討	大会関連グッズ登録開始				展示会の開催	
魅力発信	(45) 観光マップの多言語化	英語版マップの配布	多言語のマップの作成	多言語のマップの配布				
	(46) 観光資源プロモーション事業の推進		府中観光協会 HP の多言語化	外国人に影響のある SNS 等での観光情報の発信				
	(47) 外国人向けの観光ルートの開発	モニターツアーの実施	観光ルートの検討	外国人向けの観光ルートのPR、観光ツアーの実施				
	(48) むさし府中商工会議所との連携によるインバウンドへの対応	むさし府中商工会議所において実施する研修の支援					EAT TOKYOの周知	
	(49) 郷土の森博物館の外国人利用者の促進	事業内容の検討	関係団体等との協議の実施	パンフレットの作成	パンフレットの配布			
	(50) 平和島競走事業における外国人入場者の促進	事業内容の検討	パンフレットの作成	外国人入場者参加促進事業の実施				
	(51) ラグビーのまち府中の推進	事業実施体制の構築 事業の実施						

取組によるレガシーの創出・継承

年度・段階	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度以降 2022年度以降	
	—	平昌冬季オリンピック ・パラリンピック	—	ラグビーワールド カップ2019	—	東京オリンピック ・パラリンピック	北京冬季オリンピック ・パラリンピック	
魅力 発信	52 特産品の開発の支援	補助金の交付による支援の実施						取組によるレガシーの創出・継承
	53 電線類地中化事業の推進	4路線の電線類地中化工事の実施						
	54 環境対策型舗装事業の推進		測量・設計	工事の実施				
	55 自転車走行空間の整備		実施調査	工事の実施				
	56 駅前案内板や観光拠点の多言語化	駅前案内板・観光拠点の多言語化の実施						
	57 府中駅、府中本町駅及び多磨駅 周辺の公共サインの多言語化	サイン整備計画の策定	サイン整備の検討・実施					
	58 無料公衆無線LANの整備	無料公衆無線LANの整備						
	59 オリンピック等の開催会場周辺 のバリアフリー化			スタジアム通り等の施工	多磨駅通り等の施工			
	60 多磨駅の改良整備			実施設計、準備工事の実施	本体工事の実施	本体工事の実施、供用開始	工事の実施	
	61 ホストタウン交流事業の推進	交流計画の策定・申請		交流事業の実施				
62 183 FUCHU FAN ZONE に おける魅力発信			施設整備	施設開設	魅力発信			

発 行 平成 28 年 11 月

編集・発行 府中市政策総務部政策課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地

電話：042-364-4111（代表）

042-335-4006（直通）

FAX：042-336-6131